新京日日新聞　夕刊　十月七日

本紙一部五錢　定價(郵税)一ヶ月壹圓　一ヶ月壹圓拾五錢
廣告(普通)一行壹圓五拾錢　料金(特別)一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話(編輯局專用)③三三二五　(營業局專用)③三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

治安關係議案討議
全聯本會議第八日目

全聯合協議會第八日は七日午前九時より開會、丁議長議長席に着き、一同國旗に對する敬禮の後直ちに張司法部大臣より約三十分間にわたる施政方針の說明あり、引續き議案の協議に入り一、第四號經常輸送隊編成に關する件(通化)一、第七號國軍豫算增加に關する件(通化)一、第八號國軍討伐隊の給與及び行動費に關する件(北安)の三件を一括上程、第四、七號議案の提出理由の說明として通化省代表陳耀先氏起ち「軍營の行動は國家的行動にしてこれが負擔は全國民において均分さるべきもの故可及的速かに軍自體の强化を圖り、更に王道國家の明朗を期するため輕重兵制を實施されたい、又國軍豫算增加に關しては康德五年度全聯における政府回答を速かに實現され、特に犧牲者に對する恤金、遺家族の生活安定に留意されたい、又地方民の賦役も長期にわたると不法攤派となる虞れがある點も考慮されたい」と要求(丁議長奧村副議長と交代)以下朝刊へ

司法部施政方針

全聯において張司法部大臣の述べたる司法部施政方針左の如し

□

我國に於ては法院編成法に依る法院の外に五種類に亘る變則的な司法機關があつたが康德三年七月現行法院組織法を施行し司法制度の基礎を確立すると共に從來の法院を同法に依る

法院に

改組し更に康德四年度以降四個年間に興安各省を除く全滿各地域に於ける變則的司法機關の改組を完了すべき計畫を樹て着々豫定の進捗を見本年度に於ては第三次の改組に直面し既に其の準備萬端を了し近く實施の運びとなり本年度を以て主要地域の司法機關は概ね改組せられ殘餘の分に付ては明年度に於て當初の計畫通り滯りなく之が改組を完了の豫定である、行刑機關に付ては康德二年五月監獄官制を制定し行刑制度を確立すると共に從來の監獄を右官制に依る監獄に改組し縣旗行刑機關に付ては司法機關の改組と併行して監獄官制に依る分監に改組し來り之亦明年度を以て全面的改組を完了する豫定である、興安各省に於ける司法機關に付ては適當の時機に至る迄改組を差控へ今後に於ける推移を査察したる上漸次改組を行ふ方針を採つてゐる、次に法典の制定に就ては刑法、民法、商法、刑事訴訟法、民事訴訟法等司法の根幹を成すべき重要法典は既に概ね其の制定公布を見、親屬法、繼承法、民籍法、人事訴訟法、信託法、破產法、和議法等は可及的速に之等法規を完成する必要あるは勿論既に實施せられつゝある法規に關しても內外情勢の變化に應じ或は其の運用の實績に鑑み再檢討を加へ新時代に即應せしむる必要あるものもあり

之等に

付萬全を期する爲當局は此の點に深く意を須ひ着々之が準備を進めつゝあり過般民事法典の制定に關し民事法典制定委員會を組織しましたのも前陳の趣旨に基くものに外ならない、法規の運用は司法の生命で正義人道に立脚し國情に即應し民意に適合しなければならぬ之が爲には司法官に其の人を得ると共に他面國民の司法に對する認識を深めることも司法の運用上極めて重大な問題である、司法官の刷新に付ては當局の最も意を用ひその任用は嚴選を以て之を爲し現職者に對しては常に人格の陶冶と識見の向上に努めしめ多數司法官を日本に派遣して法律の研鑽及同國の司法制度並に一般社會情勢を視察見學せしめ各種講習會を開いて司法事務に關する講習を行ひ職員訓練機關を設けて司法官の養成訓練を爲し或は日本に於ける現職の優秀司法官を多數我が國司法官に任用する凡ゆる方法を講じた結果今や全く舊態を一新し現在の充實を見るに至つた、在野法曹に關しては律師法を決定した結果素質向上の跡見るべきものがある、國民の司法に對する認識に就ては漸次更正せられつゝあり殊に國民の日常生活に深き關係を有する調停法實施の成績に徵するに概ね所期の效果を擧げており將來

同法の

運用を通じ國民の司法に關する理解は一段と進步するものと信じて疑はない、監獄作業は近年目覺ましき發展を遂げ其の生產額に於て康德元年度の約二十萬圓より本年度の約一千萬圓への飛躍を見るに至つたが之は作業第一義主を採つた爲ではなく作業の制統を强化し企畫經營の合理化を圖つた結果であり監獄作業本來の目的とするところは飽く迄も受刑者の敎化に外ならないのであつて監獄作業の擴充は受刑者に對する敎化の普遍とも謂ふべきである、國境地域に於ける司法の整理充實については國境地域に於ける國防建設に即應し同方面に於ける司法陣强化の必要性を痛感するに至つたので本年六月牡丹江に高等法院及高等檢察廳を新設し同地域の司法整備に着手したが更に可及的速に國境地域に於ける司法の整備充實を期すべく計畫中である【寫眞は施政方針演說の司法部大臣】

世界の公共平和のため英佛の諒解を希望
ヒ總統國會で獅子吼

【ベルリン六日發國通】ヒトラー總統は六日正午からクロールオペラに開かれたドイツ國會に臨み一時間半に亘り大獅子吼を試みた後午後一時半この歷史的演說を終了したが演說要旨左の通り【寫眞はヒトラー總統】

□

一、ドイツ軍のポーランド戰線に於る功績　ポーランド作戰におけるドイツ軍の成功は軍事史上いまだかつて聞かざる程のものであつたドイツ軍は前後十八日間の作戰において廿五年前の戰鬪においては十四ヶ月を要した程の距離を進擊した、ポーランド軍の暴虐ぶりに對しドイツ軍は極めて人道的戰鬪方法を行つた

一、ドイツ軍戰死傷者　本戰鬪によるドイツ軍戰死傷者は一萬五百七十二名、負傷者三萬二百卅二名、行方不明者三千四百名である、これら行方不明の者はおそらくポーランド軍の手に陷ち殺害されたものと思はれる

一、獨ソ兩國關係　ドイツとソ聯兩國間の親善と協力はドイツの外交政策にターニングポイントを與へた、獨ソの友好關係確立によりドイツが曾つて强ひられたるが如き世界制覇をなさんとするものに非らず、又ウクライナ乃至ウラル征服の意圖を有しないことが明かにされた

一、ドイツの外交政策　ヴェルサイユ條約改訂の最後の段階は遂にドイツの意思に反し流血の慘を惹起せざることを得ないことになつたドイツ外交政策の目的は、ドイツと他の諸國との關係の明確化にある、ドイツはバルチック諸國及びデンマークとも不可侵條約を締結したがドイツはデンマークに對すると同樣ベルギーに對しても何等の要求を有せず、ハンガリー及びユーゴースラヴィアとの國境も亦變更されないであらう

一、對英佛關係　ドイツは現在及び將來にわたつてもフランスに對し如何なる領土的要求も有しないことは保證する、ドイツは英國と諒解に達せんがためこれまでにも種々努力した、余は今日においても世界の公共的平和はたゞ英獨の諒解によつてのみかち得られるのであると信ずるものである、余は全世界に對し何故西歐において戰爭が勃發せねばならなかつたか其理由を伺ひたい、それは果してヴェルサイユ條約が創像した元の姿にポーランドを再興せんが爲めであらうか、だがしかしかゝる目的はドイツ及びソ聯のみが東歐地方における平和の克服を有することになる以上絕對にその達成は不可能であらう、ソ聯とのこの戰はドイツを亡ぼさんがために始められたのであらうがもしこの目的が實施したとしても世界は五ヶ年以內に同樣なる問題に逢着することにならう

一、ポーランド地區の問題　ドイツの國境を歷史的および人種的諸要求に從ひさらに全東方地域における少數民族問題も解決されなければならない、これに關聯してユダヤ人問題解決のためにも努力がなされるであらう

一、ポーランド國家再建問題　ポーランド國家は再建されやうがしかしそれは反獨的傾向をもつことは許されない

一、歐洲安全保障問題　何ものにも增して決定的に重要なことは歐洲安全保障の感情の釀成のため歐洲諸國がその外交政策を明確にすることである、ドイツ政府ならびにドイツ國民は妥當なる植民地の返還要求を除きこれ以上の要求を提出しないであらう、ドイツの植民地回復要求はドイツの最後的要求ではあるがドイツはこれを最後通牒において提出しない意向である、またドイツ通商制限の余去および國際通貨統制の創設のため協力せんと欲してゐる、さらにまた軍備縮小および特殊武器の制限に協力するものであり戰爭から婦女子攻擊を除去するやう勸告せんと欲してゐる、將來について決定的意義を有するこれ等諸問題解決のための國際會議は余の見解によれば平和回復の後においてのみ意味を有つものである、戰爭は戰爭に捲き込まれたすべての國家に有害なるのみならず全世界に破局を齎すものである、今や安全保障を危殆に陷れるが如き何ものも最早存在しない

以上が余の最後的提案であることを確約する、もし余の最後的提案にして好戰者等の拒否するところとならんかドイツは最後の一點まで戰爭を賭するであらう

西江に敵前上陸！
中山攻擊の火蓋切る

【廣東七日發國通】七日午前六時南支派遣軍報道部發表＝中山縣方面に作戰を開始せるわが南支派遣軍部隊は有力なる一部をもつて東方海岸方面に主力をもつて西江方面より共に七日午前零時陸海軍密接なる協力の下に敵前奇襲上陸に成功し、目下それぞれ破竹の勢をもつて中山方面に進擊中なり▼【廣東七日發國通】わが南支派遣軍はバイアス灣上陸の一周年を前に海軍部隊と緊急な協力の下に七日午前零時を期し一齊に敵の南支抗日據點中山縣制壓の火蓋を切つた

圓滿解決の曙光
貿易省設置問題協議

【東京國通】貿易省問題を繞る外務省紛爭は六日午後に至り吉澤亞米利加、西歐亞、三谷條約の三局長が野村外相の委囑を受けて調停に乘出し種々斡旋の結果漸く政治的解決の曙光を見出し同夜八時から外務次官々邸に於て貿易省設置折衝委員會々長たる唐澤法制局長官並に武部企畫院次長前記三局長並に谷外務次官、河合情報部長等が會合閣議決定事項を變更しない範圍に於て外務事務當局の主張を織り込んで問題解決を圖るため協議が進められた

大島駐獨大使に歸朝命令

【東京國通】野村外相は六日午後大島駐獨大使に對し歸朝命令を發した

總統演說新味なし
英國公式聲明發表か

【ロンドン六日發國通】ヒトラー總統の國會演說に對し當局筋では未だ口を緘して語らないが、ロンドン政界方面では全回の演說には何等の新味がなく到底英佛をして和平討議に膝を乘り出させ得ないだらうといふに意見が一致してゐる、ヒトラー總統は國際會議案を出してゐるが、既にポーランドの運命が決定され而もドイツ側でこれに變更を加へることを許さずと稱してゐる限り會議開催の基礎は全然ないに等しいと見る向が多い

なほヒトラー總統の演說に對する英政府の公式聲明は六日中に行はれる模樣である

米佛への反響

【ワシントン六日發國通】六日のヒトラー演說は一般に不評で議會方面でも一向支持者は見當らない有樣である、殊にカツパー上院議員の如きはヒトラーの演說は英佛を驚かせようとしたものだと評してゐる

【パリ六日發國通】ヒトラー總統の演說に對しパリ政界は全く豫期した通りであるとして案外平靜にこれを迎へてゐる、殊にヒトラー總統が演說中において現在の砲煙彈雨下では歐洲平和會議の開催は到底不可能であると認めたことは相當自身の地位が難局にある事を示してゐるものなりとし政界一般はヒトラー總統の所謂平和橫成も遂に過去のものになり終つたと稱してゐる

四川省の分割は蔣勢力の扶植
各將領の不滿增大

【漢口六日發國通】重慶政府四川省分割の眞因について六日確なる筋に入つた情報によるとこれは最近頓に專制化せる四川軍の反蔣勢力を分解し直系軍を配して壓迫せんと試みた窮余の策といはれてゐるが右は一面の觀測にすぎない、現在蔣介石は對四川工作として第一の股肱の臣たる賀國光は自ら兼任する四川省主席の實權を掌握させてゐるが、その他の要人たる張群、曾擴情、康澤等の長老に對して重要なる椅子を與へるため近く開かれんとする第四次參政會議に民意なりと藉口し三省分割と主席任命を決定、主席は賀を張、曾、康をそれぞれ東川省、西川省、南川省にふりあて中央執行委員會議を經て公表するものとみられる、しかして右蔣の專權に對し蜀を標榜する四川軍將領は多大の不滿を抱いてをり、この主席發表を機として反蔣運動はますます激化するに至るは必至とみられてゐる

赫々たる大戰果！
修水河谷殲滅戰終幕

【○○六日發國通】修水河谷の敵要塞線を鐵脚下に蹂躪し王陵基、樊崧甫兩軍約十ヶ師に潰滅的打擊を與へたわが攻擊各部隊は六日朝來降りしきる冷雨を冒して河谷を彷徨する敵敗殘部隊を剿滅しつゝ進擊し同夕刻九嶺山系突破の池田、園田、長崎、旗生各部隊は修水縣城攻略の飯田、門脇各部隊及び武寧より進擊せる木島以下各部隊は何れも武寧長沙公路上の要衝○○(武寧西南方四〇キロ)附近に進出しこゝに歷史的修水河谷の大潰滅戰の幕を閉ぢたが六日夕刻迄に判明せる各部隊の輝く綜合戰果左の如し

擊滅せる敵師團番號一五、一三三、一八三、一八四、新編一〇同一三同一五同一六の八個師敵遺棄死體六、八九一、捕虜一、〇一九追擊砲六、重機七、チエコ機銃五二、小銃九九四、擲彈一〇、小銃彈六三二六、手榴彈二三一、砲彈五〇四

中南支猛爆
海鷲、熾烈な反復爆擊

【上海六日發國通】艦隊報道部十月六日午後四時發表

中支方面における海軍航空隊の活躍左の如し

(1)四日深更有力部隊は重慶防備の空軍據點たる白市驛及び廣陽をそれぞれ二回に亘り反復攻擊し熾烈なる敵の齊射砲擊を冒し且つ執拗に挑戰しきたれる敵戰鬪機數機を擊退しつゝ同地飛行場を猛擊しいづれも甚大なる損害を與へ全機無事歸着せり

(2)五日他の有力部隊は湖南省中央部の重要據點寶慶及び芷江を奇襲し同地飛行場に巨彈を浴せ滑走路その他の附屬施設に多數の命中彈を得その大部を破碎せり

(3)又同日夕刻高郵作戰に協力中の攻擊部隊は興化を攻擊し同地軍事施設を爆碎しこれに多大の損害を與へうち三ヶ所に大火災を生ぜしめたる他江西省修水附近における地上部隊に協力せる別働部隊は河固里(修水東方)附近の敵部隊を爆擊しこれを潰走せしめたり

南支方面戰況　海軍航空部隊は去る三日、四日の兩日に亘り潮洲(廣東省)附近に蟠居せる敵大部隊を捕捉爆擊しこれに多大の損害を與へたり

人事往來

着京

▲松崎權四郎氏(東京市會議員)三日來京ヤマトホテル
▲谷村吹藏氏(會社員)同
▲增田昇二氏(同)
▲小泉啓三氏(同)同
▲柴田一郎氏(同)同
▲矢野寛氏(農業)大都ホテル
▲町村敬貴氏(牧畜業)同
▲武內正博氏(機械製造販賣)同
▲小山良樹氏(福昌公司)同
▲大野碩十郎氏(會社員)同
▲朝原櫻太郎氏(同)同
▲辻貞重氏(同)同
▲田原平三氏(官吏)同
▲大谷孝吉氏(會社員)三國ホテル
▲由井映峰氏(出版業)同
▲小山新一氏(會社員)同
▲沼田爲次郎氏(土業)同
▲西木原新水氏(出版業)同
▲財間繁氏(會社員)同
▲川島精三氏(同)同
▲寺岡三生氏(同)同
▲黑田修三氏(マグネシユウム社員)同
▲松原敏夫氏(滿映社員)同
▲西崎直爾氏(農林省)同
▲石林友之進氏(小野田セメント)同
▲西坂宗正氏(マグネシユウム社員)同
▲福間正氏(同)
▲五十嵐久雄氏(醫師)國都ホテル
▲緒方英俊氏(同)同
▲佐々木久松氏(日滿製粉會社)同
▲生方四郎氏(滿航社員)同
▲松野傳氏(奉天農大敎授)同
▲小玉京四郎氏(昭和製鋼)同
▲今田芳松氏(大安汽船公司)同
▲中富貫之氏(滿航經理部長)同
▲矢野美章氏(滿業理事)滿蒙ホテル
▲谷孝信氏(實業)同
▲森泰一氏(會社員)同
▲淺田啓次氏(東洋紡績)同
▲岩尾健一氏(會社員)同

出發

▲甘粕正彥氏　六日哈市へ
▲黑田圓次郎氏　同
▲九里正藏氏　大連へ
▲佐藤金三郎氏　內地へ
▲中村撰一氏　哈市へ
▲中門文三氏　同
▲渡邊涼氏　同
▲三神吾郎氏　大連へ
▲小早川充郎氏　東京へ
▲山田正氏　奉天へ
▲松村高氏　東京へ
▲佐藤卓郎氏　同
▲河村誠三氏　奉天へ
▲高木佐吉氏　同
▲金子生一氏　大連へ
▲北猛夫氏　奉天へ
▲吉岡新太郎氏　同
▲古海日立爲氏　福岡へ

その日く

□
獨逸の言ひ分も豫想通り、そして英國の行き方も豫想通りらしい
□
スロウ、パツト、ステツディに、長期大戰へと步武を進めるか
□
全聯では中央本部に一任しても、住宅問題への關心は放任出來ぬ
□
秋深む、慌立だしい滿洲の秋だ、冬への用意はよいかと呼びかける聲がする
□
「或る晴れた日に…」マダムバツタ―フライの物語に醉ふのも樂土なればこそ

街の日記

南嶺の猿ケ島

坊ちやん孃ちやんの慰安場として又子供さん等の樂天地として南嶺動物園に昔浦島太郎が龍宮を訪れたやうな白堊の高さ十六米の猿ケ島自然美が市公園股によつて今年八月より總工費十數萬圓を投じ工事が進められて來たが材料の統制に拘り一時中止のやむなきに至つたが最近各方面からの聲援に今月から又工事が進むに至り來年六月頃には坊ちやん孃ちやん達の猿ケ島は完成の筈である【寫眞は完成を急ぐ猿ケ島】

忠靈塔參拜團

新京驛、新京ツーリスト・ビューロー共同主催の滿鐵沿線忠靈塔參拜團は十一日午後十一時卅分新京驛出發、十二日奉天、遼陽、瓦房店、十三日金州、大連、旅順、十四日周水子、十五日鞍山、鐵嶺等の忠靈塔を巡拜、十五日午後四十八分歸京の豫定

殘玉整理解決

新京官營取引所では六日午前十時より同所樓上に取引人組合臨時委員會を開催、過般經濟部大臣より十月十日より大豆先物取引を禁止する旨通達ありたることを報告した結果左の如く圓滿に玉整理を行ふべきことを決議した

△決議　十月十日より愈々大豆先物取引を停止することに本日經濟部大臣より指令ありたるに鑑み取引人組合に於ては本日臨時總會を開催したるところ賣買双方互讓的精神を以て歩み寄り現在十月限殘玉を八圓二十錢にて轉賣買戻し十月九日迄に圓滿に玉整理することを決議せり

あす（八日）

▲滿拓公社座談會　午前十時より於國防會館
▲第二回全滿男子中等學校體育大會　於兒玉公園

國軍部隊凱旋

今次ノモンハン事件に日滿共同防衛軍の一翼として勇戰赫々たる武勳を立てた國軍〇〇部隊は七日午前四時四十六分着列車で哈爾濱に晴れの凱旋をした

三浦環獨唱會

愈よ今夕七時半から　西廣場倶開演

全滿各地で絶讃の嵐を捲き起した世界的聲樂家三浦環女史は七日午前十一時四十二分着列車でこぼれるやうな愛嬌をふりまきながら多數ファンに迎へられてヤマトホテルに入つた、午後七時三十分から西廣場滿鐵倶樂部で得意のオペラお蝶夫人を唄ふが午後八時十分から第一線皇軍將士のため「夜の調べ」「ラパロール」「フニクリフニクラ」「忘れな草」「麥打の歌」「夕暮れ」「椿姫」等の名曲を中繼放送して慰安することになつた【寫眞は驛頭の三浦女史】

三業組合抗爭の裏面暴露

反對派の急先鋒が意外、會費を納入

某組合幹部の不信！

朝刊既報、新京商工公會對三業組合の抗爭即ち業者の會費未納問題も愈よ十日市當局並に業者は會談することゝなり延いて本會見によつて最後の斷を下される筈で成行は注目されてゐるが、滯納者四百五十名、滯納金八千百五十一圓三十錢は三業組合を中心として飲食店組合、カフエー組合等商工會議所時代會員とし認められずこれが商工公會に變つて新たに入會することゝなつた會員によるものである、而して三業組合は終始一貫積極的に入會反對を強硬に主張し他組合は三業組合に引きづられつゝ來たと言ふ狀態にあつた、殊にある組合の如きは既に組合員より會費を徴收し納入するやう準備し形勢觀望の消極的態度にあるものもあり反對氣勢も漸次緩和を示してゐるのである

然し乍らこの會費滯納問題を繞つて奇怪な事實が暴露されこれが表面化する場合は一波瀾を捲き起すものと無氣味な影を投じてゐる、即ち本問題に對し反對の急先鋒に立ち組合員をリードする某組合幹部にして既に會費を納入してゐる事である、勿論抗爭の結末が法律の示すところにより最後の斷、滯納處分を執行せられることは必然的のものであることは自明の理である、この強制手段に對處せんとし納入したことに他ならないが、組合を指導する幹部の他位にあり萬一の自己の安全を圖り一面には反對の急先鋒として組合員を煽動する二律背反の不信なる行爲は唾棄すべきものであると共に反對の爲の反對の感を深くし彼等の陣營總崩れを豫想せしめるものである

病軀を押して全聯議場に奮闘

悲壯、金（安東）代表の決意

全聯安東代表金東昊氏は胃腸病のため去る二日より滿鐵醫院に入院加療中であるが七日午後の本會議には安東省提出にかゝる

一、諸法令制定に際し民意暢達徹底に關する件
一、國籍法並に戸籍法制定に關する件

等の重要議案が上程されるので病軀を押して出席、着席のまゝでも説明したいと悲壯な決意を示し、關係者をいたく感激させてゐる、なほ中央本部で同代表に對し見舞として金一封を贈呈した

毎日午前九時から夜の十時十一時までのあの熱論に病人が出ないのが、不思議なほどだが不思議に今日まで病に仆れた代表はなく、昨年の全聯で公傷者があつたことはあるが、病に仆れたことは初めてのことなので本部でも英斷を以て見舞金を出す前例を開いたものでこれは協和會としてもはじめてのことであり協和精神の麗はしい現れとして國民は齊しく讃辭を送つてゐる【寫眞は金東昊氏】

モヒを密輸　半島三人組捕る

六日午後九時頃太平街八〇中央旅社を臨檢中の中央通署陳特務は三人連れ半島人の態度を怪しみ所持品を調べたところ大型トランクの中から長さ一尺直徑二寸位のゴム製タンク水嚢入モルヒネ十九本を發見、出所を追及したが頑として知らぬ存ぜぬで押し通さうとするので本署に同行した、右は朝鮮黄海道鳳山郡生れ、住所不定林昌實（二七）同金雲昇（二五）同李秉實（二七）と云ひ、昨年春頃より石家莊で寫眞業を共同經營して大分儲つたので郷里に引揚げることに話が纏り二週間前北京に着き市中を見物中、路上でばつたり小學校時代の友人呉壽山（二九）と出遭ひ、昔話するうち呉から三千圓でモヒを購入して奉天、新京まで持つて行き秘密に賣捌けば間違ひなく五千圓は儲かると聞かされ山海關通過の際には當然爲替管理法にも抵觸するから現金よりも儲かるモヒの方がよからうと相談一決し購入、賣捌き一切を呉に委託することにして三千圓を手渡した

呉は前記水嚢に入つたモヒ二十本を三千圓で買ひ入れ五千圓を夢みて四人連れで六日午前來京前記旅社に止宿、呉が賣捌いてくれるのを待つてゐたと自白したが當の呉が何れにか行方を晦ましてゐるので立ち廻り先を追及したところ、同日朝呉は三人に向つてこれから賣込みに見本一本持つて行くが何時頃歸るか判らないから街を見物してゐてくれと外出したまゝなること判明目下呉の行方を嚴探中であるが、林、金、李の三名はモヒについて何の豫備知識、用法を知らず折角儲けた虎の子を慾ばつたばかりにうまく騙り取られたばかりか今は冷い留置場に迂濶だつた自分らの淺はかさを悔んでゐる

ピンバー大尉無言の凱旋　國境戰に斃つたピンバー大尉の遺骨は今七日午前十一時四十二分新京驛着無言の凱旋をなした【寫眞は新京驛にて】

ミユキさん何處

六日中央通署保安係に朝鮮咸州郡興南邑柳亭北區井形惣市さんは去る一日無斷家出した三女ミユキ（一八）さんが新京に立ち廻つた形跡があるから搜査保護して下さいと願ひ出た

大麥と燕麥

標準價格を決定

政府は康德六年九月廿三日より康德七年八月末日に至る本年度産大麥及び燕麥の標準價格を左の通り決定、この程暴利取締令第三條の規定に依り新京特別市及び各省當局宛通達し一般に公示せしめることゝなつた、尚譯又は碼頭以外の地につき大麥及び燕麥標準價格決定の必要あるときは運賃その他諸掛を考慮の上決定される筈

一、關東陸軍倉庫檢査規格に依る精撰品三等合格貨車積（又は船積）正味一〇〇キロトンに付左の通とす（單位圓）

	在來種	改良種
大麥	一〇、四四	一〇、八〇
燕麥	九、五三	九、八九

二、關東陸軍倉庫檢査規格による合格大麥及び燕麥の正味一〇〇キロトン當格差金は左の通りとす

大麥精撰品
一等　標準價格より二四錢高
二等　標準價格より一二錢高
三等　標準價格

大麥素品
一等　標準價格より一二錢安
二等　標準價格より二四錢安
三等　標準價格より三六錢安

燕麥精撰品
一等　標準價格より二四錢高
二等　標準價格より一二錢高
三等　標準價格

燕麥品
一等　標準價格より一二錢安
二等　標準價格より二四錢安
三等　標準價格より三六錢安

戰傷の勇士を滿洲で大量採用

職業輔導に滿鐵ヒット

白衣勇士の職業輔導に滿鐵では本年度から傷病兵の傷病歸郷勇士を社員として大量採用を企て曩に厚生省を通じて全國各府縣職業課にその斡旋を依頼中であつたがその志願者は三百廿二名に達したので職歴、軍歴を參酌した上滿洲の風土への適否體格檢査の結果全國四十三府縣から二百卅三名の大量採用を六日正式に發表した

この採用者のうちには義手八名義肢五名、義足六名その他一眼を失つた勇士十四名もあり他は貫通銃創等を受けたものである、この合格者は關西以東の者は來る廿四日、關西以西は廿九日門司からそれぞれ滿洲に向け出發し再起奉公の覺悟も固く大陸に新生の地を求めることゝなつた

これら傷病社員は一般採用社員と全く同樣の待遇でその傷病狀態に依つて各人に適した職場が與へられるが滿鐵では滿洲の多期酷寒を憂慮し主として新京以南の各地に採用する豫定でその成績如何によつては今後もどしどし傷病軍人の大量採用を行ふ意向である

浮浪者に救の手

北滿出稼ぎの傷病苦力群に　協和會が歸郷斡旋

協和會の斡旋で救はれる浮浪者先づ六十三名が歸郷、黒河方面に於て勞働に從事中不幸凍傷のため不具となつて浮浪者の群に投じた苦力の數は逐年增加するので風紀、衞生、治安、防諜等の關係上これが取締方法につき協和會黒河省本部、警護隊、省公署、縣公署警察署等において種々考究中のところこの程協和會黒河省本部の盡力によつて二千圓の寄附金を得たので彼等を歸郷せしむることゝなり、その第一回歸還者六十三名が璦琿國境警備隊小川秀枝、協和會黒河省本部竹田義夫兩氏の引率で六日午後三時十分黒河より着京　市内東四道街大同佛教總會に一先づ落着いた、協和會中央本部よりの暖い夕食を喜びの涙に咽びながら頬ばつた、一同は植田警務司長より金一封を授かり大同佛教總會齋藤正貞女史の肝入りで報恩についての紙芝居を見物、何年振りかで暖い一夜の夢を結んだ、なほ一同は七日午前十時半新京發でそれぞれ歸郷河北出身の卅一名に對しては小川、竹田兩氏が山海關まで見送つた

出前逃げる

六日午前九時頃曙町四丁目一五十番こと寺島光太郎さん方出前河北生れ劉申山（一八）は配達に行くとて釣錢十一圓を所持し自轉車で出掛けたが夜になつても店に歸らないのに不審を抱いた店主光太郎さんは得意先を調べたところ午前中に四、五軒より二圓餘を集金してゐること判明さては持ち逃げかと取り押へ方を中央通署に願ひ出た

財布を紛失

七日午前十時五十分頃梅ケ枝町三丁目足立商店員兪光濟（二〇）君は店より平木洋行に赴く間に財布（現金三百三十八圓八十六錢在中）を紛失中央通署に屆け出た

忠男君家出

六日午後一時頃市内承平街三〇八號後藤アイさん次男忠男（一八）君は家人の隙を窺つて家を飛び出してゐるのを夕方アイさんが氣付き中央通署に捜査方願ひ出た、忠男君は最近精神に異狀を來し家人監視中のものであつた

松岡博士來京

前文部省教育調査課長現宇都宮高等農林學校長農學博士松岡忠一氏は興亞大學新設に關し十二日頃東京出發滿支各地を視察することになつた

船田衆院議員

北滿方面視察中の衆議院議員船田中氏は八日午後九時三十分着列車で來京一泊九日朝鮮經由歸國の豫定

日本監督團來京

キネマ旬報社主催映畫監督清水宏、溝口健二等諸氏の滿洲視察團一行は七日午後九時二十五分新京に到着する、一行滯京中は滿映で種々斡旋、八日午後六時からは松竹梅で日滿監督の座談會を開催する

小川演藝主任

多年新京放送局に演藝主任として活躍した小川弘通氏は今回北京中央放送局に轉社することとなり七日挨拶に來社、十日離京の筈

團體往來（七日）

▲青森縣滿洲開拓地視察團二十五名　七日午後七時五十二分着吉林より
▲廣島西條農學校生徒六十六名　同午後七時五十二分着吉林より
▲大分女子師範學校生徒四十一名　同午後六時三十九分着哈爾濱より
▲京都府立第一高等女學校生徒五十三名　同午後七時五十二分着吉林より
▲岐阜縣青年學校教員養成所生十一名　同午後零時三十分着奉天より
▲鐵嶺鐵道愛護團員見學旅行團四十八名　同午後三時十五分發哈爾濱へ
▲亂石山國民優級學校生徒四十二名　午前六時五十三分着、午後三時二十五分發亂石山へ

今晩の主なる放送

▲七・三〇講演（東京）朴根植
▲七・四〇座談會「職場に厚生しつゝある傷病軍人の體驗を語る」（東京）糸井謙次外
▲八・一〇ソプラノ獨唱（新京）三浦環
▲八・三〇長唄「紀文大盡」（哈爾濱）民寵外
▲九・〇〇講談「秋空晴れたり」（東京）一龍齋貞山
▲九・二〇十分間演藝（東京）加藤精一外

仙々掌

キャピタル華やかなりし頃の猛者が續々新京會館のフロアーに戻つてゐることは既に紹介濟みであるが、アゝ、なんとまたも一人可憐な明星の舞戻り▼そのかみのキャピタルを知る人ならば懷かしい名である〝デメちやん〟（あわてゝはいけない、歸つて來たのは彼女で無い、話はまあゆつくり聞きなさい）彼女は奉天フロードウエイへと移りそれから結婚へゴール、現在は樂しい家庭生活にあることは風の便りで知る人もあらう▼その妹増田文子―姉と共にキャピタルに働いてゐたオカッパの可愛い子供（正にあの頃は子供であつた）と言へば皆さんも思出すでせう、姉の後を追つて奉天スターへと移つた子だが、やはり國都がなつかしいかこの度の舞戻りとなつたのである▼新京を去る直前に彼女も流行の後尾に乘つてオカッパをパーマネントにして大分子供らしさを失つてゐたが、それでもまだ〳〵▼所が歸つて來たのを見たら驚いたネ、子供らしさなんて全然見えなくてとてもシヤンになつて色ッポイのです、奉天の水はそんなに良かつたか▼私も子供じや無いのよ、姉さんの結婚生活の甘い所も散々見せつけられたし、私も新京でウンとガンバッテ戀人を作るワーなんて張切つてゐますから、これから先が樂しみです▼もう一人、やはり奉天スターにゐた子を紹介、その名を越智幾代子さんと呼んで新京へ來たいのはかねての念願、キャピタルへ來たトタンに閉鎖に逢つてクサッて內地へ戻つてしまつたが、どうしても新京が忘れられず、キャピタルの子がみんな新京會館にゐると聞いて馳參じた譯、いゝ子だがまだ馴染の客がついてゐないから行くなら今の中ですよ▼マーさんで有名な元カフエー組合の松本さん、興亞のマネーヂを引受けてその實感を叩けば愉快である、この商賣は意氣である、而して熱である、須らく正義でなくてはいかん、と言ふのがマーさんの建前である凡そ軟派を謳歌するカフエーとは一寸縁遠い理想を持つてゐるかと云へばそうでない、秋のメロデーを持つものは即ちワンカップである、そしてまた美人の相對的氣分であると言ふのだ▼これはまア偉い切口上だと云へば、いやいや興亞精神はこれでよい僕の氣持判るだらうネ君、なる程カフエー興亞た、だが側から此處の別嬪さん口を出して「マーさん私もこの意氣よ」と、見事なオツパイをポンと叩いた邊りは興亞の秋だ

故鴈治郎の若き姿
珍フイルム發見

名優故中村鴈治郎の若き日の姿が撮されてゐる今から卅二年前の珍フイルムが發見された――少しく古い話だが今を去る卅二年前、明治四十一年の八月一日、大阪では市電の南北線（梅田、四ッ橋間）開通記念の催しとして、某新聞社の主催で「電車と人力車とどちらが早いか」と云ふふるつた早廻り競走が行はれ、この選手として市電側に鴈治郎をはじめ我童、荒五郎、吉三郎、福助、右團次、梅玉ら當時の人氣舞臺俳優が參加し、人力車側の富田屋八千代、千代はじめ當時の名妓組と覇を爭つたことがあつたが、この實況を横田商會（後の日活）の某技師が撮影した一卷（約二百尺）のフイルムがその後各方面を轉々とした末、最近神戸の水野一二三氏の手に依り西宮の素封家久世勇三老が家寶として秘藏してゐることが判り今回、大日本映畫協會が映畫法實施記念に十月一日より東京高島屋で開催中の映畫文化展に出陳したものである

このフイルムは卅二年前のものと思へぬ畫面も鮮明なもので、その撮影手法も俯瞰、パン、大寫しありで、當時としては珍らしく斬新なもの、又、當時四十三歲働き盛りの成駒屋が白の背廣服を着用、未だ幼かつたいまの長三郎、扇雀の二人の愛兒の手を引いて颯爽と畫面に登場する微笑しさと相俟つて映畫ファンにも亦演劇愛好家にとつても思ひ出懷しいフイルムである

溝口花柳コンビ 舞臺で再現

溝口（監督）・花柳（主演）のコンビになる下加茂秋の超特作「殘菊物語」は漸く出來上つたが、同監督の演出の腕に惚れこんだ花柳は、十一月旗擧げをする「新生新派」初の公演に「祇園の姉妹」を出し、同監督の演出によつて上演が確定した、かくて映畫のコンビが、こんど初めて舞臺へ延長されることゝなつたのである、京都下加茂撮影所で始まる三月かゝつた溝口健二監督、花柳章太郎初出演のコンビになる「殘菊物語」はやつと完成、近く國際劇場で封切りをするが、撮影を終へた花柳は十日ごろ歸京直ちに十一月明治座で旗擧げする「新生新派」の準備にかゝり、一座の顏ぶれもそのころ發表する段取りになつてゐる

この「新生新派」は獨立劇團として年四回松竹系劇場で公演することゝなり、同劇團で出す狂言もご自由といふことになつた

それでまづ旗擧げ興行には「殘菊物語」に於て三ケ月間苦樂を共にした溝口監督が、巧緻極まる監督手法を見せたのに花柳はすつかり惚れこみ、十一月の明治座の舞臺へ引き出し、同監督の傑作「祇園の姉妹」を上演するので、溝口氏の演出を舞臺で再現することに決定したのである、溝口氏も「殘菊物語」をあげた後休養をする取りになつてゐるので、松竹とも諒解の上進んで演出に當ることを約したものだが、映畫監督が舞臺に進出することは空前のことである、なほ「新生新派」旗擧げの出し物は

「祇園の姉妹」のほか、森鷗外作鬪口次郎氏脚色演出の「雁」吉屋信子氏の「女の教室」の一部分で これは阿木翁助氏が自由に書き下し、さらに吉屋信子女史がこれも初めて演出するといふ珍らしい陣立てゞ、ほかに八木隆一郎、金子洋文氏の作品のうちから一本が選ばれることになつてゐる

雜音

日活映畫復歸第一回封切作品は杉狂兒、轟夕起子の「花園の天使」と千惠藏の「うぐひす侍」の二本立で十三日から從前通り新京キネマに出る▼約一ヶ月餘日活のマークのみを恨めしげに止めてお古番組を續けて來たこゝもこれから本當に活を入れることになる▼朝日座けふから寫眞替り山路ふみ子の「紅痕」と森靜子の「忠孝小笠原狐」の新興二本の娯樂番組實入れのよさゝうな色合ひである▼帝キネの「地中海」に次ぐ洋畫番組は次週「猫橋」と決定、滿映直輸入歐洲映畫の封切第一陣である、續いて「不思議なヴイクトル氏」封切の豫定であるが、新品待機に洋畫陣にも活が入り、洋畫ファンには心待たれることである

豆ニュース

◇…前作「いろは仁義」の小唄映畫で妙手を見せた日活京都の紙恭平監督は次回作品として「岩見重太郎」（假題）と決定

◇…日活多摩川では新春映畫の企畫の第一決定作品として轟夕起子がキヤラコさんに次ぐ主演物「三人娘の成長」を製作する

◇…大都大伴監督は浪曲映畫「槍供養」を大乘寺八郎主演でこの程完成

◇…大都中島監督は「怪猫白縫悲願」を阿部九州男主演で諸般の準備を開始した

◇…松竹京都秋の大作「殘菊物語」の後をうけて下加茂が誇る美聲スター高田浩吉で「歌祭浩吉節」を製作する

◇新興京都が秋の浪曲大衆篇として酒井雲特別口演で製作する武田昌夫脚本の「吉良の仁吉」は同社がさきに發表した虎造浪曲映畫「森の石松」「富士川の血煙」と共に次郎長外傳三部曲をなすもので監督擔當は押本七之輔

十月八日 日曜 舊八月二十六日 戊寅 先負 執 星宿

東京・本郷・神誠館

●一白の人 他人の言を妄信するときは意外の失敗あり 坤と艮と甲が吉
●二黑の人 目上の者と意見の合はざる事の生じ易き日 坤と庚と丙が吉
●三碧の人 誠意事に當らば意外の援助を得て慶ある日 艮と壬と巽が吉
●四緑の人 運氣開發に向ふべき日徐ろに行動するが吉 西と巽と壬が吉
●五黃の人 目前の感情に騙られて衝突し易し注意の日 巽と坤と丙が吉
●六白の人 引込み思案をせず秩序正しく進むに利あり 東と乾と坤が吉
●七赤の人 身の分限を守り進退時を以てすれば吉を得 東と乾と壬が吉
●八白の人 一小事の爲めに進路を誤る勿れ進みて吉 巽と坤と丙が吉
●九紫の人 悲運も志一つにて一轉して吉に向ふべき日 西と艮と乙が吉

近藤勇

橋爪彦七 作 (上演上映) 西正世志 畫

(三十三)

京の夜(四)

芹澤は、にがり切つてゐた。廣い局長の部屋が、芹澤の怒つた聲で震ふやうだつた。平山五郎が、宵の始末を、有ること無いこと取りまぜて復命してゐるのだつた。

膝に拳を置いて、睨み据ゑてゐる芹澤の肩が、びくり——と、時どき波をうつ。

『なぜ逃したッ』

雷のやうな聲だつたし、それはもう先刻から幾度となく繰返されてゐる言葉だつた。

平山が、

『何分、栗鼠のやうに素速こい男でして——』

『辯解はいらん!』

芹澤が、また呶聲を叩きつけるのへ、芹澤の左に——勇と並んでゐた新見錦が、

『ま、さう云はんで、平山も同行の隊士を失ふた罪を託てゐるのだし——』

『詫びて、殺された者が、生きかへるか』

『………』

『隊の者を失ふて、自分だけ傷も受けずに、おめおめと立ち戻つて、助勤としてそれで』

勇が、傍から口を出して、

『平山、謹愼したまへ』

『はッ』

救はれた思ひで、席を立つ後姿に、芹澤が、

『馬鹿—ッ』

と、呶鳴りつけた。

新見が、

『五郎め、器量を下げよつて』

と、勇の顔を見て笑ふと、芹澤が、

『あいつ、助勤を取り上げる』

まだ、憤激のやり場に困つてゐる様子を見て、

『まあ、あまりやかましく云はぬ方が、それに平山も、後悔してゐるし——』

『左様』

と、新見が、芹澤の顔を窺ふやうにして、

『出かけやう?』

『うむ』

と、芹澤が、三百五十匁の鐵扇を持つて立ち上つた。

『近藤氏?』

新見が、ちらと勇を振りかへつた。

『留守居をしよう』

春風のやうな、軟らかいものが勇の聲に混つてゐた。微笑が、頻に、のぼつたり消えたりした。

暫くして、芹澤が、新見やその他の隊士を取巻きにしてぞろぞろ出て行くと、後は、寂とした夜のしゞま……。

勇は、

『誰か——』

と、叫んで、隊士の若人が顔を出すと、

『あ、佐々木か』

と、顧みて、

『墨をおろしてくれ』

『畏まりました』

と、佐々木愛次郎が、行儀よく坐つて、墨を擂りはじめた。

勇は、暫らく、黙々としてゐたが、やがて、墨の濃くなつた頃を見計らつて、自ら紙を展げると、さらさらと伸べて、

『よろしい』

佐々木が硯を運ぶと、雄渾な筆跡で、

——局中法度書。

と、一氣に書いた。

次に、

一、士道に背き間敷事、
一、局を脱するを不許、
一、勝手に金策致不可、
一、勝手に訴訟取扱不可、
一、私の闘爭を不許、
右條々相背候者切腹申付べく候也

と、書き終つた。

美男で十九、佐々木愛次郎の瞳が、ぢッと紙面の法度書に吸ひ寄せられてゆく……。

商況 七日前場

海外經濟電報

倫敦金塊	八磅八志——
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二二片二分一〇
同先物	二二片四分一
紐育銀塊	三五仙八分一
孟買銀塊	五七留比八分一

▲市俄古小麥

十二月限	八二仙八分七
五月限	八二仙四分三
七月限	八一仙八分一

▲紐育棉花

現物	九仙一九
十月限	〃〃一二
十二月限	八仙八三
一月限	八仙六九
三月限	〃〃五六
五月限	八仙三七
七月限	〃〃一七

印棉

ブローチ	一六九留比二分一
オームラ	一七六留比四分一
ベンゴール	一四二留比二分一

カルカッタ麻袋

鐵筋	三六留比二分一
胃筋	四二留比八分一

▲紐育株式

スチール株	七五弗八分五
アナゴンダ株	三三弗四分一

▲外國爲替

米英爲替	四弗〇二仙八分五
米日爲替	二三弗六五仙〇
米支爲替	七弗七五仙〇
米佛爲替	二仙二八八分五
英米爲替	四弗〇二仙〇
英日爲替	一志二片三分一
英支爲替	四片八分七
英佛爲替	一七六法〇〇
印日爲替	七九留比〇〇

▲東京爲替

對米賣	二三弗一六分七
對米買	二三弗八分五
對英賣	一志二片〇〇
對英買	一志二片六四分一

各地株式市況

▲東京株式(短期)

	寄付	大引
新東	一五三八〇	一五四三〇
大新	八二三〇	八二七〇
鐘紡	一七四八〇	一七四九〇
同新	一一七〇〇	一一三四〇
帝新	一一三〇〇	一一六四〇
洋新	九九九〇	九九六〇
日新	七八一〇	七八四〇
郵船	九二九〇	九六八〇
日鐵	一〇〇八〇	一〇一六〇
同新	八六三〇	八六三〇
日石	七九四〇	七九七〇
日立	八八六〇	八八七〇
滿業	八三〇〇	八三六〇
東工	—	—
電電	六三〇〇	六三一〇
日鐵	—	—
滿新	七二一〇	七一九〇
鐘新	八八八〇	八八六〇
日曹	七三〇〇	七三五〇

▲大阪株式(短期)

新東	八二四〇	八二六〇
大新	一五三五〇	一五三四〇
鐘紡	一七四六〇	一七四九〇
同新	一三三一〇	一三三六〇
滿業	八二九〇	八二九〇
日曹	七七九〇	七八五〇
帝新	一二三九〇	一二〇七〇
商船	九三六〇	九三八〇

▲大連株式(短期)

五品	一九一〇	一九〇〇
大新	八二二〇	八一七〇
新東	一五三二〇	一五四〇〇

各地商品市況

滿粱	八二九〇	八二九〇
鐘紡	一五四〇	一七四七〇
同新	一一三三〇	一一三三〇
滿鐵	七一七〇	—
土木	一九五〇	一五九〇
日新	八〇四〇	—

▲大阪綿布

十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]

▲東京人絹

當限	—

▲大阪棉花

十月限	六二五	六〇七
十一月限	—	—
十二月限	—	—
一月限	—	—
二月限	—	—
三月限	六二〇	六二九
四月限	[illegible]	—

▲大阪期米

當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

▲大阪人絹

當限	—	—
五月限	—	—
六月限	—	—
七月限	—	—

▲横濱生糸

十月限	一六三一	—
十一月限	一六〇九	—
十二月限	一五九八	—
一月限	一五八六	—
二月限	一五八三	—
三月限	一五七九	—
現物	一六六〇	—

各地特産市況

▲新京

	寄	引	出來高
●大豆 現物	八三〇	八三〇	一四三車
九月限	—	—	
十月限	—	—	
十一月限	—	—	
十二月限	—	—	
一月限	—	—	
●高粱 現物	六四〇	六四〇	九車
九月限	—	—	
十月限	—	—	
十一月限	—	—	
十二月限	—	—	
一月限	—	—	

▲大連

	寄	引
●大豆 袋入 十月限	八八七	八八七
十一月限	八四四	八四四
十二月限	八二一	八二一
一月限	—	—
二月限	—	—
●高粱 現物	八四〇	八七四
十月限	七八六	七八六
十一月限	六九二	六九二
十二月限	六九一	六九一
一月限	—	—
二月限	—	—
●豆粕 現物	三七四	三〇四
十月限	三一	三七
十一月限	—	—
十二月限	—	—
一月限	—	—
二月限	—	—
●豆油 現物	三〇八	三〇八
十月限	二〇四	三〇四
十一月限	一九〇	一九〇
十二月限	—	—
一月限	—	—
二月限	—	—

手形交換高(七日)

七八〇枚 二四八九、八二六、〇三錢

銀座キネマ 電③六四六五

ニュース		1,30	4,23	7,14
狂戀女師匠		1,53	4,46	7,37
若き妻	12,00	3,02	5,55	8,46 10,05

豫告 十四日より 浪曲映畫 男一匹 愛染格子

帝都キネマ 電③二四〇五

ニュース		12,43	3,50	7,10
まごころ		12,55	4,15	7,35
地中海	11,00	2,05	5,25	8,45 10,25

六日より十一日まで 階下一圓

豫告 猫橋 金語樓の大番頭

長春座 電③五七六六

ニュース	12,00	3,32	7,04
風河へ唄	12,23	3,55	7,27
松山映子とヴェルディ・ス・オルケスタ	1,40	5,1[illegible]	8,44
道街れ晴虹	2,2[illegible]	5,56	9,[illegible] 10,31

八十五錢 六日より十日迄

次週 名月神田祭 まごころ繁昌記

豊樂劇場

ニュース		12,00	3,15	6,40
裸の教科書		12,3	3,45	7,10
續愛染かつら		1,30	5,00	8,25 10,05

六日より十日まで 五十五錢

岸本チエーン 映畫御案内

新京キネマ

團藝曲物動		1,14	4,22	7,30
ニュース		1,24	4,32	7,40
船出は樂しい		1,54	5,02	8,10
太平洋半月形	12,00	3,08	6,16	9,24 10,32

全館 四十錢均一

朝日座

紅痕	12.00	3,40	7,10
ニュース	2.10	5,10	8,50
狐原笠小孝忠	2,40	5,40	9,20 10,30

七日より九日まで 料金四十錢

豫告 十日より 岡譲二主演 鐵腕都市 長谷川一夫主演 瞼の母 朝日座

豫告 十一日より 榮光の道 應答なし PCL 豊樂劇場

豫告 十三日封切 日活映畫 花園の天使 新京キネマ

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局専用(3)三二〇五 營業局専用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

協和會、政府の關係 さらに緊密化せん
岸、皆川氏の言明注目

第八日の全聯における「官吏の綱紀肅正並に生活安定に關する件」の協議に際し岸總務廳次長、皆川協和會總務部長が交々起つて「官吏に建國精神即ち協和精神を徹底的に體得せしむべし」とする代表の意見に對し、「官吏中協和會不要論を稱へるものありとせばこれ等は滿洲國官吏たるの資格なきものである」として政府は協和會精神の下に存在するものであつて協和會精神なくして政府も官吏も存在の意義なしと言明したことは極めて注目を惹いた、即ち中央、地方を通して協和會々務職員と政府官吏が往々にして對立乃至阻隔せる關係に置かれる傾向なしとせず爲に協和會と政府それ自體が對立的存在の如き觀を呈する傾きがあつたが、當日の岸總務廳次長、皆川總務部長の言明はたまたま政府協和會兩當局の一致せる見解として這般の見解を公式言明せるものとして今後の兩者間の正常化緊密化に拍車をかけるものと豫想されてゐる

地方民の協力俟つ
于治安部大臣自ら說明

全聯八日目午前陳通化省代表に引續き

北安省代表運綸甫氏　國軍討伐隊は生命を賭して治安の確立に當れるにも拘らずその給與行動費は充分なりと認めず、昨年度の政府回答を速かに實現されたい

治安部王軍事科長　討伐經費に對する軍の方針は出來る限り軍の自給自足による考へであつて軍としては出來る限り人民の負擔を減ずるやう考慮してゐるから各位の御協力を望む

治安部伊藤主計科長　人夫、車馬の徵用に對する補償並に宿泊料等については軍管區において支拂ふやう指示しあり、將來補償金の不拂などありとせばどしどし御通知ありたい、將兵の俸給は近く更に相當の增給が行はれる筈、又一日の平均食費は從來二十二錢五厘となつてゐるが、これも三十錢位に引上げたい

澤田治安部次長　討伐の敢行治安の確立を急いでゐるため多少地方民に無理をかける向きもあるかも知れぬが勿論民衆の負擔輕減は充分考慮してゐる

更に二、三代表意見の補足あり　かくて于治安部大臣拍手を受けつゝ登壇する、大臣が質問に答へるのはこの本會議最初で非常な熱心さを示し卓をたゝきつゝ熱辯を振ひ

軍隊も警察も國民の一部より成る、若し警察官にして不都合を働く者ありとすれば治安部では早速調査を進め處斷し、又これを未然に防ぐべく努力する、現在討伐中の地方は地勢惡しく邊地のこと故異常な困難と不便を伴ふを常とするので地方民の協力を得つゝ愼重に事を進めつゝあり、來年度の募兵については特に御盡力をお願ひしたい

と喝采裡に降壇、奥村副議長より本件は中央本部に一任されたいと諮り滿場の拍手を浴びて中央本部一任と決定、ついで

一、第五號官吏の綱紀肅淸並に生活安定に關する件（間島、濱江、錦州、奉天、安東、龍江）
一、第十八號邊境地方における下級官吏並に公務職員の待遇改善に關する件（興北）

の二件を一括上程、龍江省代表于希油氏、興安北省何誠中氏より

警察官、街村職員、小學校教員の待遇は全く薄給で生活困難の實情にあるから下級官公吏の待遇を改善されたい、又協和會精神に立脚して各民族別の待遇給與の統一を望む

と訴へ、ついで間島省代表朴根楨氏より薄給のため轉出する者著しく事務進捗上支障を來す場合多し、安東省林實樹代表より被服費、住宅費、食料費をめぐる下級官公吏層の切實な叫びを代辯する、つゞいて吉都金子代表より文官令の改正には增俸は餘り考慮されなかつた點を指摘、時に午後時十分、副議長より同二時まで休憩の旨を宣す

教員待遇改善討議
午後官吏問題に賑ふ

午後の本會議は同二時開會、奥村副議長議長席に着く、奉天省代表堅山政藏氏質問を續行

小學校教員の俸給は各省毎に不均衡であり、富裕でない省には多少の補助があるとは聞いてゐるが、これらを全部國庫の負擔としては如何

吉林內田仙次代表　第一に官吏は監督上の責任を負ふや否や、第二に政府においては果して協和會に對する認識が缺けてゐないといへるか

と矢繼早の質問を浴せ、なほ他に發言を求める聲起るが、奥村副議長より質問を打切る旨を宣し岸總務廳次長の答辯に入る

下級官公吏の綱紀肅正並に生活安定については增給その他福祉施設の整備により圓滿に解決したいと思つてゐる、政府としては出來得るものから着々行つてをり目的達成の熱意に燃えてゐる、懲戒すべきは懲戒して綱紀を肅正し又監督上の責任も明確にされてゐるから安心されたい

皆川本部總務部長　協和會は建國精神を體得せる者を以て組織されたる實踐組織體であると共に政府の精神的母體であることは動かすべからざる事實である、從つて若し官吏中にこの建國精神に反するが如き者ありとせば許すべからざることは勿論ではあるが、さりとてこれを處罰し去るといふことはそれ自身協和會精神ではない、これに諄々とした說明を與へて指導するを妥當とする

神吉民生部次長　初等學校は從來街村の經營する處であるが、人件費については市縣旗の負擔とする方針である、中等教員を官吏としてこれを適當に接配することにより綱紀の肅淸を圖り、又一般社會教育上にも多々裨益するところがあつたと思ふ

熱河省張代表より質問を行し政府の答辯には大體滿足であるが、時として政府の施策がその所期するところと反對の結果を招來することがある、かゝることのなきやう充分徹底し、これが爲には協和會の機構を利用して綱紀の肅正を徹底されたいと陳述、これに對する答辯として　原民事司長登壇

官吏の綱紀は充分徹底してゐると思ふが、多少の不祥事があるのは遺憾である、しかし乍ら一國の刑事政策上重要問題であるから愼重な態度をもつて臨みたい、犯罪の摘發については一般民衆の協力を願ふ

とて降壇し、議長より本件は中央本部一任とされたいと諮り、滿場の贊同裡に本部一任と決定、五分間休憩

麻袋懇談會

麻袋、棉花に關する懇談會は政府側產業部津田農產科長、大塚農政科長、特產科關係官各代表十七名出席し七日午前十時二十分本部側久保田開拓主任座長席につき協議に入る、艾代表（龍江）提案理由につき說明、特產科本間麻袋主任國內麻袋生產高、生產能力等につき詳細に說明、その不足なる理由を擧げてその割當の公平なる旨を力說、要は輸入爲替の如何にある旨を述べその不足やむなき原因につき諒解を求め、結局本部一任となり午後一時一旦休憩同二時二十分再開、棉花亞麻問題の懇談に移りこれまた本部一任となり同三時半散會

放送懇談會

國境地帶放送に關する懇談は實踐部長室において七日午前十時より武藤弘報處長、岡田郵政總局事務官、前田電々放送部長、筧電々事業科長、各省代表、淺海、岡田兩本部員出席の下に開催、牡丹江省より緊急議案として提案せられた國境地區における施設整備に關する件について牡丹江省代表より提案理由の說明、これに對して各委員より懇切なる說明を行ひ可及的速かに顧ふやう努力する旨答辯、結局本部一任と決定、正午散會した

度量衡懇談會

度量衡器に關する全聯懇談會は七日午後二時より本部長室において開催、去る三日の同懇談會の結果、未解決のまゝ殘つた

一、値段の引下げの件
二、使用期限延長の件

の二件に關し

（一）は他物價との關係上困難である（二）は訓令で通達してある旨の政府回答があり各代表これを諒とし二件とも解決となり午後三時散會した

中山縣城完全占領
珠江制壓陣全く成る

【廣東七日發國通】南支派遣軍報道部發表＝中山縣城の敵はわが猛襲を支ふることを得ず、七日午後一時廿分、林、秋富、大西、重久諸部隊は雪崩を打つて縣城に突入しこれを占領せり、敵は北方に潰走附近の丘陵に退却するや周圍より追擊、全滅は單に時間の問題となれり

南支報道部長談

【廣東七日發國通】中山縣地方は香港地方と相對して珠江に通ずる水道の一河を制扼する要地にして、海および江口より包まれた孤立の地帶をなし而してわが陸海軍より全く包圍の態勢下にあること必至にも拘らず現在に至るまで一度もわが軍の進擊を受くることなく殘されたことは一度地圖を展げれば誰しも甚だ奇異に感ずることとなるべし、もとよりこの猫額の地區に對するこれが討伐は極めて易々たるものなりと雖も、中山縣はその名の如く孫中山先生の故地にして由緒深き縣なるをもつてわが軍は特に敬意を表しこれに武力的行使を差し控へ只管縣當局および民衆が孫文の遺訓に基き反省自覺し自ら進んで和平救國、日華提携●中央新政府擁護等の實を擧げ縣內治安回復、更生するの日を待望、然るに蒙昧度し難き縣當局遊擊隊および最近一部の正規軍も加りて日本軍のこの

寛大

なる處置に對し却つて增長、甚しきは自己の微力をも顧ず殊更に强硬捏造的宣傳をなし自軍が勝利を博したる如く誇張し善良なる民衆を迷はし、これをして抗日擾亂的氣勢を擧げ、或は縣政を顧ずして苛斂を課し民衆を塗炭の苦しみに陷らしめ、更にまた隣接第三國を通じて兵器、彈藥の輸入跡を絕たざる等毫も反省の色を見るべきものなし、こゝにおいてわが軍は徹底的にこれら當局および軍隊を膺懲し、その迷夢を覺まし良民を救出し永久に治安を確保し、もつて名實共に明朗模範的中山縣構成を畫し十月七日精銳部隊をもつて各方面より、進攻を開始せりもとより作戰の範圍は明示する限りに非ず、またその結果に鑑み更に必要なる方面に波及擴大することなきも保し難し、然れども一般の民衆、孫中山先生の

遺跡

および第三國の權益等は特に敵側を制するの所爲に出でず、またわが作戰行動を妨害せざる限り尊重庇護せられ得べきものなることを保障す

英陸軍部隊動く
佛に向け連日連夜輸送

【ロンドン六日發國通】英情報省六日の發表によれば英國陸軍部隊は日夜を分たず續々フランスに向け輸送されつゝあり、これまでのところ一名の死傷者もなく英佛海峽輸送が遂行されてゐる

英佛軍首腦協議

【パリ六日發國通】ガムラン佛國軍總監、ブイルマン佛空軍總司令、アイアンサイド英國野戰軍總司令ならびにニューオール英空軍參謀長等は六日某所に會合、情勢の進展に處すべく英佛聯合軍の當面せる緊急諸問題につき重要協議を行つた

羅國王暗殺陰謀

【ブカレスト六日發國通】ルーマニア政府は六日右翼鐵衛團の國王暗殺陰謀事件につき左の如き發表をなした

ルーマニア官憲は六日鐵衛團員と目される男子二名、女子二名を逮捕したが右四名は國王カロル二世ならびに現政府首腦の暗殺を企圖せるものである

酒匂大使歸朝

【ブカレスト六日發國通】ポーランドの戰火を避けブカレストに滯在中の酒匂駐波大使は歸朝命令に接したので六日蜂谷參事官、井上二等書記官丸尾書記生を帶同自動車でブカレストを出發、ブダペストに向ひ歸朝の途についた

融合か決裂か 外務省成行

【東京國通】野村外相は七日午前八時半外務省に登廳、參事官との間に省內紛擾對策について協議した後、十時首相官邸に阿部首相を訪問、事態打開に關し胸襟を開いて協議を遂げ、更らに午後三時より省內大臣室に於て谷次官以下局長、部長等立會、高瀨幹事長等課長事務官代表十八名と會見、輕擧を戒しめる訓示と共に課長、事務官側の上申書に對する回答として外務當局修正案を更に修正する新妥協案を提示した、之に對し石井會計課長より檢討の上何分の回答をする旨を述べ同廿五分右會見を終つた、右會見の結果兩者が妥協融合の方向に進むか、又は決裂の方向を辿るか注目されてゐる

各部局辭令

任警察廳長、敍薦任三等　縣警正　佐藤五郎
補本溪湖警察廳長（十月一日附）
任產業部事務官、敍薦任二等　武末淸
補產業部參事官、大臣官房辦事
市理事官　植村秀一
任市技正、敍薦任一等
補哈爾濱市衛生處長
（十月二日附、各通）
任恩賞局事務官　大內龜太郎
補恩賞局理事官、敍薦任一等
補恩賞局調查科長（十月一日附）

カー大使重慶へ

【香港七日發國通】テレグラフ紙の報道によれば六日夜上海より香港に到着したカー駐支英大使一行は六日午前三時特別仕立ての飛行機で重慶へ向つた

偶語

東京へ行くのに飛行機より汽車が早いといふ言葉を最近新京でよく聞く▼苦心慘澹折角東京までの航空券を求めいよいよ出發といふ日になつて日滿連絡缺航と來る▼最近の如く頻々と缺航されては成る程汽車より遲くなるのは當然である▼大日本航空は十日より多のダイヤを改正することを發表したがそれによると日滿連絡は從前通りである▼滿洲にあるわれわれはまだ當分汽車より遲い飛行機に乘らねばならないのかと思ふと心細くなる▼東亞新秩序建設の途にあゝ今日としては或る程度の不便は忍ばねばならないが用ひられるものはそれを出來得る限りより有効に用ふることは必要である▼日滿間今日の現狀は隣りづき合ひから本家と分家の間にまで接近してゐるのである▼この際眞劍に頭を使へば今日の不便を除去する途は幾何も殘つてゐるやうな氣がする

波軍要塞を占領、國旗掲揚する獨軍（ダンチツヒウエスタープラツト要塞）

第五分科委員會

全聯第五分科委員會（金融、商事、公課及勞賃）は七日午前十時十五分より本部第一會議室において開會、久保委員長外委員廿六名、關係機關より松田經濟部次長、山梨同商務司長、稻次同商事科長、風早產業部鑛山司長、前田日滿商事理事、木村生活必需品會社理事、協和會第五部處理委員並びに幹事等出席、委員長挨拶のゝち直ちに附託議案四件の審議に入り、先づ物價昂騰抑制に關する件、物價調節に依る農民生活安定に關する件二案を一括上程

田村長氏（龍江）　物價問題に對する生產者側との利害の相違につき政府は如何に調節せんとするか

立川文與氏（東安）より北滿僻地に於ける石油の暴騰に就き對策を要望し毛鳳林氏（三江）よりは公定價格實施の不徹底に就き辦法を要求するところあり永江亮二氏（錦州）より闇取引の實例を小麥粉と煙草にとり政府の說明を求む

松田經濟部次長　第一に物價と勞賃との問題であるが、政府はその兩面に亘つて抑制を考究してゐる、第二は需給の調整であるが、今日の需要の激增は到底供給の滿足は行はれぬ消費の節約は極力圖らねばならぬが一方配給機構の整備が必要であるので現在重點主義に基く整備を行ひつゝある、第三は專賣及び公定價格である、專賣の不十分な事は認めるが制度それ自身は尤もよい制度だと思ふ、專賣は現在鹽と燐寸だけであるが將來は他にも及ぼす意向である、煙草は專賣に依らず消費稅をとる立前である次に公定價格であるが、これのみでは適正價格の維持は困難であり、それは需給の統制、配給機構の整備を伴ち經濟警察の强化及び國民の道德的、運動的援助に依らねばならぬ

永江亮二氏（錦州）より物價物資の取締機關に協和會分會を參加せしめる事の提言あり李毓三氏（奉天）、中村功潤氏（間島）、鍾文氏（奉天）も起つて政府の物價對策が姑息的であると批難する、田村長氏（龍江）特殊會社は建國精神に立脚して國民の利益を圖るべきだとなし、特殊會社の社長重役などが大臣級の俸給を取ることの不合理を痛烈に衝くところあり

山梨商務司長　今日の狀態は物價統制即ち價格の公定を行はねばならぬ、物資が伴はなくとも價格は維持せねばならぬ、要するに價格の公定は需給の調節とは別個にやらねばならぬ

と述べたる後各代表の質問に對する逐一答辯に移り

一、物價物資の取締に協和會の參加はよい考へと思ふ
一、需給の不均衡是正の問題は生活必需品の物動計畫を樹てる事によつて出來ると思ふ
一、政府の物價對策大綱の遲れたと言ふ論は當らない、大綱の決定したのは七月であるが、それ以前より政府は公定價格の實施、統制會社の强化等を行つて對策は實行してゐる
一、農村と物價の調整には重點を置いてをり農產物と配給物資との平均衡は充分とらしめる
一、特殊會社の營業費には制限はないが物資の購買に重點をおき經費の指導監督は行つてゐる

これにて一應審議を打切り、午後一時廿分休憩、二時廿分再開、山梨商務司長より、公定價格と闇相場との問題を要約說明しこの問題解決には百の取締令公布よりも國民の訓練が何よりも必要なる旨强調する所あり次いで經濟取締に對する協和會の參加に就き、半田企畫局副局長の說明に入る

協和會としては衣食、住の各部門に於て先づ特定の省縣に實驗的に行ひ、次第に全國に及ぼす樣な方法を執り早急に實行したい意向である、王道政治はつめれば衣、食、住の經濟問題であり、この分野に迄會運動を及ぼすのは協和會當然の使命と思つてゐる、即ち政府の經濟政策を國民生活の實際に卽してその實踐を斡旋指導する事は協和會當然の任務である

と經濟的分野への協和會進出について明確にその意圖を表明した事は會運動の劃期的展開を示すものとして注目される、次に中澤善四郎氏（濱江）より動議として

經濟問題に對する國民の自覺は勝手氣儘をせぬこと、人に遺憾を懸けぬ事にあるが、各個人としての觀念を徹底せしめるため指導的立場にある代表の申合せを行ひたい故委員の考慮を求む

の提言あり、各代表より贊成意見の開陳あつて分科會の意見として本會議に提案することゝなり本部に一任、同時に議案二件も本部一任となる（以下明朝刊）

社説　ヒ總統演説と英の動向

ヒトラー總統の演説はやはりポーランド處理を既成事實としその上で英佛と停戰を議せんとする希望あることを示したものであつた。しかし英國の立場は最初はポーランド擁護であつたが後にはヒトラー政權打倒といふことをさへ言つて居り、大體各方面の觀察ももはや斯くなつては急速に和平を議すること等はないであらうとしてゐるやうである。伊太利もかかる形勢を見透してか靜觀的態度を示してゐる。チエンバレン英首相はさきに今回の歐洲危機がどう發展するかについて遺憾乍ら英國はこれを決する立場にゐないと聲明したが、それは獨逸就中ヒトラー總統の決意如何に係ることを示唆したものであつた。その時以上に今は英國の態度は硬化してゐると考へられるのである。

大體の情勢より考へても、事態を獨波の紛爭に局限化することは結局に於いて獨逸が壓倒的勝利を占め歐洲の均勢が破壞せられるに至ることは明らかであるから、ポーランドに對する英佛の條約上の義務もあり、英佛は問題局限化にしたがふことは困難なのである。英のハリファックス外相は「英國々民はその全歷史を通じて常に一國が他國を犧牲に供して歐洲の覇權を掌握することには反對するの義務を感じて來た」と議會に於いて聲明した。チエンバレン首相もその近著に於いて「獨逸の行動に關し我々はそれが獨逸の主張した限界内に限られ又單に獨逸の利益を他の非獨逸諸國の獨立を脅威することなく伸長せんとするものである限り、必ずしも關心を持つ必要はなかつたのである。しかるにボヘミヤやモラビヤのやうな住民の大多數が獨逸人でない國が第三帝國に併合された時、その他の國々が何處でこの併合運動は止まらうとするのかと直ちに疑念を持つに至つた。まことに當然の結果として隣邦諸國は總て安全を脅威されると感じ、さうして我々に對する疑惑が生じた。結局、世界を征服しようといふ意圖を持つて次から次へと隣邦を併合することになる政策の第一歩を我々は唯拱手傍觀するだけだといふ疑惑が。」と書いてゐる。今次の問題が起つてからも英國外相は「大戰の可能性が再び現れたからには英國政府は自己の態度を世界に對してばかりでなく、特別のメッセーヂによつてヒトラー總統に對しても明らかにしたのである、それ故英國が自己の負つた義務を遂行する意志がないのではないかといふやうな疑念は斷じて存在する筈がない」と放送演説した。英國にして前言に忠實である限り、若くは他によほど大なる利益をでも提供されぬ限り現狀に於いて獨逸の希望に應ずることはないであらう。

"石炭直接液化法"を語る（八）
功勞者を語る
松岡前總裁の熱心さ

松岡總裁の油の話は餘りに有名過ぎる程であるが撫順液化工場が完成に近づいた昨年の暮から本年初めにかけては同總裁は忙しい用務の暇を見られては自ら撫順に出掛けて久保炭礦長以下關係者と液化問題で議論をしたり同工場に出掛けては自ら深山所長以下從事員を督勵する等全く其の熱心さには關係者一同感激したものである今度阿部博士から又「松岡總裁は前から中央試驗所の前を通られたと云つては同研究室に立寄られ色々と油の研究に就て良く聞かれ若い社員を督勵されて歸られた之は全く前例のないことで前總裁自身が日本に如何しても必要な油に就て如何に熱意を持つて居られたかの證左です」と聞かされた。全く松岡總裁は石炭液化事業に對しては素人の域を脱した該博な智識と興味を持つて居られたもので滿鐵今回の成功を齎した最有力な後援者として山本條太郎氏と共に其の名を忘れることは出來ない、又今回の成功の見透しをつけられて同總裁が勇退されたことは當時の談話のなかにも殘つて居る。

永野大將の揮毫

元海軍大臣永野修身大將は石炭液化に就ては非常な功勞者であるが、去る四月中旬特命檢閲の爲來滿に際し撫順炭礦液化工場を視察し、著々として進む同工場の成功振りを見て直に墨痕鮮に「國基茲安」と揮毫し其の喜びと感激を現はし最初の液化生産油は直に天覽に供すると共に伊勢大廟へ奉納して頂き度いと眞情を吐露して歸へり、久保炭礦長以下關係者は此の言葉にすつかり感激した事であつた、全く此の撫順の液化油こそは大和民族擧げて待望した尊嚴なる神油とも稱すべきものであり、此の同工場長室の「國基茲安」の額は訪れる人々に深い感銘を與へてゐる

その他の人々

滿鐵今回の成功は決して以上述べただけの偉な人達のみに依つて成し遂げられたのでなく此の國策的大事業に協力された人々の集大成である、茲に之等の方々に敬意を表し特に嘗て滿鐵社員會雜誌「協和」に記載された記事中から功勞者の名前を擧げて從來の功勞に感謝すると共に第二、第三の本工業飛躍に協力あらむことを衷心より御願ひし、國家的大事業の完璧なる發展を祈る次第である、海軍の德山燃料廠關係に於ては山下、岸本、吉岡、上田、山中、吉成、御宿各歷代廠長、河瀬、木梨、野村、隈部各歷代研究部長の指導の上に横田中佐、小川博士、有本中佐、鈴木少佐、三井大尉等の各研究部員が一貫して本研究の達成の爲に今日迄精進せられ本工業の大規模工業試驗にイニシアチーブをとられたことは國民として忘れ得ないところである、滿鐵中央試驗所關係に於ては現所長丸澤常哉博士、同次長佐藤正典博士の統制下に燃料課長阿部博士を中心とする社員の努力は勿論たが現華北交通會社宇佐美總裁、大平前滿鐵副總裁、元滿鐵顧問故斯波博士、元中央試驗所長故栗原博士、九州帝大名譽教授西川虎吉博士、京都帝大教授喜多源逸博士等の助力は特に大きい、撫順石炭液化工場關係に就ては昭和九年十一月設立された石炭液化企業委員會のメンバーたる當時の理事現北支開發會社副總裁山西恒郎氏、永谷顧問、根橋計畫部長の努力と適切なる畫策は遂に松岡前總裁の決裁となり又昭和十二年六月の燃料會議に於ける出席者海軍側吉成廠長、野村部長、滿鐵側久保理事、丸澤顧問四氏の一大英斷は遂に現在の工場の基礎となつた、其の後間もなく有本寬機關中佐は指導官として撫順に駐在、川原岩中將は滿鐵顧問として東京－撫順を往復せられ海軍滿鐵兩者の連絡に當られると共に好意ある助を同工場に與へられた、撫順液化工場建設に關しては深山所長、阿部宮本兩副長初め各關係一千の從事員は文字通寢食を忘れ一致協力工業作業に邁進し中央試驗所よりも三十數名がこれに協力本年二月二十一日大部の建設を終了し初めて第一回綜合運轉を敢行するに至つた、特に時局多端の折柄資材調達並輸送其の他に關し常に援助を下さつた關東軍及滿洲國要路の好意は海軍軍需局燃料廠並新京海軍武官府の好意と不斷の援助と共に滿鐵として誠に感謝するところであり、本成功に甚大なる好影響を與へられたものである

侵略行爲ある以上 和平受諾し得ず
ヒ總統演説に英聲明

【ロンドン六日發國通】英國外務省は六日夜ヒトラー總統の演説に對し左の如く聲明した

ヒトラー總統の演説は曖昧晦澁ではあるが一應目を通したところでは本演説は次の二部より成るものと思はれる、即ち第一部においては過去の事實に對する概觀が行はれてゐるが、そのなかには英國民のみならず世界民衆によつても容易に看破されるやうな事實の歪曲が多い、第二部で若干の和平提議を行つてゐる、この和平提案に對し英國としては諸自治領政府およびフランス政府とも協議して充分吟味するものではあるがそれにつき次の二點は充分銘記されなければならない

一、如何なる和平提案も歐洲より侵略の脅威を有效に無くされない提案ならばこれを受諾するを得ない

一、ドイツが如何なる和平提議を成すにせよ吾々の信頼を得るためには言葉以上の何物かゞ提示されなければならぬ、なほ今回のヒトラー總統の演説には現在英佛が是正せんと努力しつゝあるドイツの他國民に對する非行の贖罪につき何等の方法を示さずこの點から見ても余り問題にならない

和平拒否を示唆
佛コムミユニケ發表

【パリ七日發國通】ヒトラー總統の國會演説終了後二時間にしてダラデイエ佛首相は上院外交委員會においてヒトラー總統の和平提議を拒否するが如き演説を行つた、ダラデイエ首相演説に關する政府コンミユニケ要旨左の通り

ダラデイエ首相は六日上院外交委員會で次の如く演説した、即ち英佛の勝利によつてのみ歐洲における眞の正義と恒久的平和が確保されるであらう、吾々の言ふ平和は一切歐洲における制壓の問題を排除するしかしてかゝる平和は人民の權利と生命と自由の上にのみ建設することが出來るであらう、英佛兩國は平和が確實に確保されるまで斷じて武器をおかねであらう。

ソ聯、ラトヴィア相互援助調印

【モスクワ五日發國通】モロトワ外務人民委員とムンテルス・ラトヴイア外相との間に交渉中であつたソ・ラ相互援助條約は五日兩相間に調印された、同日のタス通信は

一、條約調印の結果ソ聯はラトヴイアのリエバヤ（リバウ）ベンツピルス（ウインダウ）兩市に海軍根據地を設け且つ空軍根據地數ケ所設置のため土地を租借し得

一、ソ聯はイルベン海峽防備のため海軍砲臺を設置し得

右各根據地に相當兵力を置くことなどの權利を獲得した旨報じてゐる

滿蒙毛織增資

滿蒙毛織（資本金一千萬圓、拂込六百六十二萬五千圓）では來月一日新株九萬株の拂込を徵收（一株につき三十七圓五十錢）同時に現在の資本金一千萬圓を二千萬圓に倍額增資するに決定した、右拂込金は借入金の一部償還並びに北支工場（北京、天津）の設備擴充に充當される筈

石炭の配給輸送
日滿支連絡會議設置

【東京國通】伍堂商相は六日の閣議において石炭の增産に關する方策につき詳細説明し特に石炭關係の配給輸送については永井遞鐵相に、勞力の點については小原内厚相に對しそれぞれ積極的協力方を要請その諒解を得たが商相としては石炭增産の根本方策として石炭の國内增産を確保する一方これと併行して日滿支石炭增産に關する綜合的にして恒久的な對策を樹立實行するため政府部内に日滿支石炭連絡會議を民間には日滿支石炭聯合協議會を設置せしめる意向である

第二豫備金支出

【東京國通】政府は六日の閣議を經て左の如く本年度第二豫備金を支出するに決定した（單位千圓）

△外務省所管

一、在支特派公使事務所費　三六

一、在支領事館警察充實費　二五二

藥言毒語　佐藤積齋

支那國論の二　大轉換（六）

清朝に於ける官吏の薄給制度は實際政治の上に有らゆる情弊を簇生した、清朝を謳歌して歷代中無二の善政を布きし如く褒めちぎる者は第一に此の薄給制度を擧げてゐるのは自己の貪婪飽くなきを掩飾するための議論である、官吏の薄給と官吏の淸廉とは決して並行するものでない、日本の舊幕時代武士道を以て立てゐた諸藩の侍ですら四つ物成の御扶持には相當に苦勞したものである、武士は食はねど高楊枝と氣取つた反面には手内職に出來るだけの活計費を稼いでゐた、鹽谷溫博士の祖父に當る宕陰先生なども其岳父に與へた書翰中に今日の士にして内職を爲さゞるものなし内職は猶ほ私業と謂ふが如きなりなど書いてある所よりみれば宕陰先生も名を一世にあげるまでは何か内職をされてゐたやうである。

彼の有名な信州松代の藩士佐久間象山先生の如き氣節識見を以て一世を睥睨しながらも四つ物成の御扶持には隨分手許が苦しかつたと見え大名が藩士を扶持するといふからには安心して食へるだけは扶持すべしであると其衷情を友人に訴へた書面なども殘つてゐる、

之に比較すると明治の初年に陸軍士官の月給を制定したなどは相當に考慮を拂れたものである舊藩時代には各藩とも士と卒とは判然と區別してあつた、士は即ち石取の侍卒は即ち扶持米給の足輕である此の例よりして陸軍士官を待遇するには當然士分を以てする事とし少尉を百石中尉を百五十石大尉を二百石取の士と定め四つ物成の計算を用ひず實石高を當時の米相場に換算し少尉の月給を月二十五圓としたのが陸軍給與令の基本である、この率より推算すれば今日の百石取には月給三百餘圓を支給せねばならぬのであるが然うもゆかぬところに當局の惱みがある、

□　□

序に一言して置きたい事は今日陸海軍人の行ふ擧手の敬禮である、あの敬禮を兵式の改正と共に西洋の眞似をしたと思ふては大間違で擧手の禮は日本武人の戰陣に於ける古よりの禮式で最敬禮の場合は雙手を擧げ普通敬禮の場合は隻手を擧げることになつてゐた、擧手の禮は決して西洋の輸入ではない、軍用犬の如きも萬國に率先して使用したのは南朝の忠臣畑時能である、一も西洋二も西洋で毛唐の提灯持をする者は大抵日本歷史の何物たるを御存知なき族輩である、

こゝで本論に戻るとして清朝に於ける科擧制度が有爲の人材を去勢せしめ更に官吏の薄給が賄賂公行の弊風を助長したことは私の詳説を須たずとも天下周知の事實であるが私は支那歷代の科擧制度が意想外の所に支那人其人の性情に大影響してゐる事を特に書添へて諸賢の參考に供したい

□　□

支那人の議論好きで實行は其十の一にも及ばず、書かせたり饒舌らせたりして置けば晝夜の別なくまくし立てゝ手も付けられぬ狀態になる、私は之を斷じ支那人の性癖は文を望んで義を生ずるの一言に盡くるとなす詳しくいへばこゝに何等の論題あれば必ず之に一と通りの理窟を付けるのである、其論旨の徹底不徹底などは最初からお構なしで議論づけ奇想天外の論理を以て相手を煙に捲て了ふ、この支那人共通の性癖はすべて科擧の制度から馴致されたものである事は最も注意を要する、

□　□

凡て科擧の試驗問題は第一場は四書第二場は五經第三場は策論といふ事にきめてはあるが、其題たるや時には頗る半端のものもあつて要は題意の解釋に在らずして如何に之を文章化するかに在る、受驗者たる者及第が唯一の目的たる以上與へられたる題目に對して何とか辻褄の合ふ樣に一文を草せざるを得ぬ、この心構が天下有爲の青壯年をして盡く文を望んで義を生ずる性癖の持主たらしめたのであるから胸中に小理窟を貯へて何事にも一言居士の名譽を博してゐる人に實行家は頗る乏しい、支那人の議論に對し我も亦議論を以て之を折伏せんなどゝ試みる者あらば空しく奔命に疲れて一事の成功なきに終らんのみ

競馬
けふフイナーレ
優勝レースに人氣集る

新京國立賽馬の總決算となる新京秋季第三次レースの第八日目は愈々最後の優勝競馬をもつて終りを告げることになつた、本年四月開幕以來實に四十八回、春秋各三季間に亘る新京賽馬も滿都ファンの熱狂振りに壓倒的成績を收め記録から記録を破つて名實共に國都賽馬の面目を爲すに至つた

ファンに取つては千變萬化、悲喜交々の一年を今日大房身に名殘を止めることは聊か感なしとせざるを得ないだらう

昨日の第七回目の穴競馬に引續いて今日こそ掉尾の一戰に銳氣滿々、秋抽千八百米の第一競馬より火蓋は切られるが駿馬の健脚もまた生彩を加へ華やかな最終日を飾るであらう

本日の呼物となる優勝競馬は第六古抽障碍二、八〇〇米、第八秋抽優勝二、四〇〇米、第十各抽二、四〇〇米、第十一外馬優勝二、四〇〇米の四つであるが最も興味のある各抽籤古馬優勝レース二、四〇〇米である、他は大體に於て本命馬獨壇場となるのではあるまいか、左に下馬評を擧げて見よう

△抽古障碍＝このレースは來北が近況の調教から見て先づ第一に候補馬たることを擧げねばなるまい、第一回目の競馬に公武、大江戸、轟等を押へて三分四七秒の時計をもつて上つてゐる、伊呂波は最初の障碍優勝レースに參加するので何の程度迄健脚を伸ばすか興味はある、公武、大江戸の二頭は今季廿五勝一次、二次と二回連覇をしたる内田厩舍の凌蹈が故障でない限り絶對的のものであらう、これは單勝なるが故に複式を狙ふといふ興味もないし、完勝して最後の參加レースとなるわけだが兩馬共自力ある馬格を有すだけに活躍を期待される

△秋抽優勝＝先づもつて一本である

△抽古優勝＝本レースは前季と同樣に頗る波瀾あるレースとなるであらう、前回の優勝馬鞍山松風に、前回障碍で優勝した美壽滿洲が今度平場へ廻つて初陣のレースとなつてゐる、下馬評はこの二頭に人氣を集めるものと思はれるが、美壽滿洲七十三キロの重量を負つゝ健脚を何處まで持續するか、尙は梶原厩舍の有力陣で足利、天星矢等の强豪がある、それから近來好調にある武勇、堅城、榮生等の對立なども忘れてはならない斯樣な調子から見ると本レースは穴競馬となることを豫想せられる

△外馬優勝＝このレースは田中厩舍の王忠一本と見て差支ない、但し大連壽、滿流、美光等の肉薄が興味がある、尙は昨日の第十二レース障碍に於て一貫飛越の際に骨折し惜しくも廢馬となつてしまつた、當日に於ける成績はたの通り

第七日成績

▲天氣晴　馬場良
▲入場人員　三三五三人
▲馬券　三〇二、一〇五圓
▲ガラ　二七、八三〇圓

△第一競馬（一、六〇〇米、七頭）1榛（二分三六秒）2世紀（大差）3第二金波（十馬身）4啓龍、配當＝單二二圓三〇、複1一〇圓八〇2九圓四〇、搖彩票1一二二圓八〇2三〇圓七〇、等外七圓六〇

△第二競馬（二、四〇〇米、三頭）1哈克勇（三分二六秒）2金駒（一馬身半）3雲祥（大差）配當＝單六圓五〇、搖彩票1一七〇圓六〇、等外二一圓三〇

△第三競馬（一、六〇〇米、六頭）1若登美（二分三九秒）2雅（八馬身）3第二灘龍（九馬身）4至寶、配當＝單六圓七〇、複1五圓六〇2七圓六〇、搖彩票1三八四圓2九六圓、等外三〇圓

△第四競馬（一、六〇〇米、七頭）1新發田（二分一九秒）2四天（十馬身）3磐古（大差）4磯千鳥、配當＝單一三圓四〇、複1七圓二〇2七圓六〇、搖彩票1五一二圓2一二八圓、等外三二圓

△第五競馬（一、八〇〇米、九頭）1相生（二分二八秒）2奉天木曾（首）3新常陸（大差）4玄洋、配當＝單二〇圓四〇、複1六圓一〇2六圓二〇3八圓四〇、搖彩票1一、一二〇圓2三二〇圓3一六〇圓、等外六六圓六〇

△第六競馬（一、八〇〇米、八頭）1朝日櫻（二分三一秒）2武光（一馬身半）3除光（一馬身半）4禮孝、配當＝單二一圓七〇、複1七圓二〇2五圓五〇3六圓四〇、搖彩票1一、三四四圓2三八四圓3一九二圓、等外九〇圓

△第七競馬（二、〇〇〇米、五頭）1里仙（三分四秒二）2午長（二馬身半）3第三連贇（鼻）4石洲、配當＝單一〇圓九〇、複1八圓五〇2四二圓四〇、搖彩票1七九三圓六〇2一九八圓、等外六二圓

△第八競馬（一、八〇〇米、五頭）1朝洋（二分一八秒）2第二伊吹（頭）3慶春（八馬身）4第一武藏、配當＝單九圓四〇、複1六圓一〇2六圓九〇、搖彩票1七九三圓六〇2一九八圓、等外八二圓六〇

△第九競馬（一、八〇〇米、一〇頭）1滿洲鶴（二分三一秒四）2勝駒（半馬身）3福丸（三馬身）4菊香、配當＝單一二圓七〇、複1五圓九〇2六圓、搖彩票1一五六八圓3二二四圓、等外八〇圓

△第十競馬（一、八〇〇米、七頭）1大響（二分三一秒）2新勇（五馬身）3趙鵬程（一馬身）4第一麒麟、配當＝單三六圓、複1一五圓八〇2九圓四〇、搖彩票1七九三圓六〇2一九八圓、等外四九圓六〇

△第十一競馬（二、〇〇〇米、五頭）1大鹿毛（二分五〇秒）2奉駒（一馬身）3早姫（二馬身）4公山、配當＝單一一圓四〇、複1六圓六〇2八圓六〇、搖彩票1七〇四圓2一七八圓、等外七三圓三〇

△第十二競馬（二、〇〇〇米、四頭）1新松綠（三分二〇秒）2奉天雷波（一馬身）3大先飛（大差）4一貫（落馬）配當＝單九三圓四〇、搖彩票1四二六圓六〇、等外三五圓五〇

勝馬豫想

▲第一秋抽 一、六〇〇米
一 啓龍 遠田／二 第二金波 谷尾／三 千利 田部井／四 駿 熊谷／五 怒留美 小川／六 第二生花 川本／七 世紀 脇山／八 新活虎 前田

▲第二抽古 一、六〇〇米
一 天狗 甲斐(啓)／二 第一松龍 脇山／三 雅 熊谷／四 至寶 田部井／五 第二灘龍 梶原

▲第三抽古 一、八〇〇米
一 盤古 甲斐(均)／二 磯千鳥 川本／三 德榮 田部井／四 四天 落合／五 仙風 甲斐(啓)／六 午林 松尾

▲第四抽古 一、八〇〇米
一 惠駒 久保田／二 新常陸 濱崎／三 宿禰 田部井／四 公山 落合／五 福孝 内田／六 新勇 松尾／七 新旭 中塚／八 諏訪 甲斐(啓)／九 大飛將 熊谷／十 玄洋 梶原／十一 新宇治川 久保／十二 除光 小川／十三 武光 前田／十四 菊香 遠田／十五 宏輝 甲斐(均)／十六 福丸 松本

▲第五外馬 一、八〇〇米
一 雲祥 池田／二 大連金東 熊谷／三 慶春 田部井／四 華洋 脇山／五 第二伊吹 小川

▲第六抽古障碍優勝 二、八〇〇米
一 公武 谷尾／二 伊呂波 田部井／三 金嵐 甲斐(啓)／四 來北 濱野／五 大江戸 池田／六 轟 甲斐(均)

▲第七外馬障碍特殊 三、〇〇〇米
一 初二 甲斐(均)／二 哈克勇 岡野／三 鯉濯 前田／四 金大勇 小川／五 新泉 田部井

▲第八秋抽優勝 二、四〇〇米
一 午山 岡野／二 菊王 濱崎／三 幹生 谷尾／四 凌蹈 田部井

▲第九抽古 一、八〇〇米
一 金霞 池田／二 奉天木曾 田部井／三 晴海 久保／四 第二淡桂 内田／五 第三連贇 岡野／六 勝駒 落合

▲第十抽古優勝 二、四〇〇米
一 鞍山松風 上原口／二 榮生 谷尾／三 睦月 中塚／四 濱龍 甲斐(啓)／五 美壽滿洲 小川／六 堅城 濱崎／七 午陸 遠田／八 驀 久保田／九 天星矢 梶原／十 武勇 前田／十一 足利 田部井／十二 鳥渡 甲斐(均)

▲第十一外馬優勝 二、四〇〇米
一 大連壽 松本／二 王忠 甲斐(啓)／三 滿流 上原口／四 美光 小川／五 金一 熊谷／六 哈克 濱崎

▲第十二抽古 二、〇〇〇米
一 石洲 田部井／二 保王武 久保田／三 寄燾 久保／四 趙鵬程 小川／五 早姫 前田／六 吉生 遠田／七 午長 岡野／八 登勝 落合

協和欄

綱領

滿洲帝國協和會は唯一永久、擧國一致の實踐組織體として政府と表裏一體となり
一、建國精神を顯揚し
一、民族協和を實現し
一、國民生活を向上し
一、宣德達情を徹底し
一、國民動員を完成し
以て建國理想の實現、道義世界の創建を期す

國政運用上に於る全聯の地位向上

政府の熱烈な協和精神表現

第六回全聯ら開會以來すでに一週間を過ぎ代表者側の熱誠且つ眞摯な審議態度とともに政府當局も關係當局代表を總動員し施政方針の說明に當つてをり、從來に比して實質、形式ともに著しく程度が昂まつてゐることは各方面の定評であり、國政運用上における重要なる使命を擔當すべき素質と實力を漸次認めらるゝに至つたことは最も注目されるところである、しかして政府が今回の全聯前において「全聯議案處理」に全力を傾注し全聯開會中に金融、農事兩合作社統合問題、糧穀の統制問題等今期全聯の重要議題となつてゐる諸懸案の處理對策を一擧に解決して國論の歸趨に順應すべく努めたことは國政運用上における全聯の地位が著しく重要視されるに至つた證左とされてゐる、なほ政府の以上の如き措置が所謂議會政治に見られる朝野攻防戰における政府糾彈の羈を抑制せんとするものでないことは勿論であつて政府の熱誠なる協和會精神の表現とみる點においては協和會、政府兩當局の齊しく確認するところである

新省設置懇談會

新省設置に關する懇談會は本部長室において午前十時十分より政府側桂地方處長、荒谷大島兩參事官、地方代表として奉天、營口、四平街各代表出席の下に開會

一、四平街省(假稱)設置方促進に關する件(四平街)
一、營口省新設に關する件(營口)

につき四平街、營口代表より夫々提案理由の說明あり、ついで政府側より

桂地方處長　現在政府としては將來大省主義をもつて進むべきか小省主義をもつて進むべきかにつき研究中でこの根本問題解決後でなければ今日のところ御提案に對してどうするかと云ふことは申上げられぬ、四平街營口よりのこの御提案のほか政府としては錦熱方面および富錦からもこのやうな話を聞いてをり、これ等も結局は根本方針が決定しなければどうするかといふことは解らぬ、近くこの問題も解決することゝ思ふからその節小省主義をとることゝなれば四平街、營口等は一番に取上げられることゝなると思ふ

と回答、四平街、營口代表より各地の經濟ブロックと政治ブロックの食違ひから來る不便現狀を披瀝して政府の所置を要望桂地方處長より

御說明の點充分參考にして考慮する

旨を述べ次で奉天代表

奉天省は七市二十三縣を擁し行政の浸透方面から見てもこれを適當な新省設置によつて分割行政の徹底を期すことが必要と思ふ、どうか充分考慮を願ひます

と四平街、營口代表の希望を政府側に懇請午前十一時十五分散會した

"衆議統裁"

發案者作田博士の辯

第六回全聯閉會を前に橋本中央本部長の「多數決原理を排斥し所謂衆議統裁を實現せよ」との致詞以來全聯の決裁方法として「衆議統裁」と言ふ言葉が大きくクローズアップされて浮び出た、この言葉發案者は建國大學副總長の作田莊一博士で去月以來用務東上中であつたが五日夜歸京、六日は早速全聯本部委員席に鶴のやうな痩軀を現したので博士に發案者としての衆議統裁論を聽けば

(やあその)事か、何も今更ら俺にしやべらせなくつたつて見事に衆議統裁をやつて退けてゐるではないか、洵に結構なものじあないか元來だね、上古の政治または國家の運營に關する小規模な諸國では重要な政るものは概ね會議を開いてその議事の方向を見て元首又は首腦部が單獨に決裁してをつた、これが即ち上古の會議獨裁といふ奴だ、次に中古に下つて國の規模組織といつたものが大きくなつて國情が複雜となるに從ひ諸問專斷の制度所謂寡頭專制を通例とするやうになり更に近世歐洲の社會が成長するに及んで個人自覺が擡まり革命が起り前時代と全然正反對の衆議數決の議會制となつて近世諸國に普及されたものだ、衆議の極は國民總表決に達し數決の極は一人の差でも一方が他を制するといふのであるがこの制度は專制の弊を改めるには(役立つた)が衆議は屡々愚見偏見を集め衆愚政治はやゝもすると衆愚政治に陷り數決は却つて政黨による階級的壓制の具と化して來たのだ、これを改廢して現代に即應する議決方法として考案されたのが合議統裁制即ち協和會でいふ所謂「衆議統裁」の制なのだ、會議に際して滿場一致を求むるのは極めて少數者の會議は別として多人數の會議で求むる事は多くの議案を不立に終らしめるか或は議案成立のために威壓によつて一部議員の沈默を以て贊成と看做す不公明の終結を見るものである

會議の要締は考へられた會議目的について諸方面の所見を洩らさずまた重複せしめず綜合的結論に達せしむるべき合議の實を擧ぐるにあるのだ、しかるに多數決制は個人の自由平等を本義として出發したにも不拘事實はその反對の黨派的專制に陷つて仕舞つたではないか、かゝるものは超個人的團體の意志決定方法に個人主義を採つた根本的矛盾に基因するものだ、また團體生活を正しく導き得るものは(團體)(意志)を直現しまたは表現するものまたはこれに近い者であるが故に萬機に亘る事項の正しき道を判斷する機關としては會議を必要とするかくて會議によつて綜合的結論に達せしめその結論を團體意思の決定と化するため各種の會議目的に適應した總裁者を推しその總裁者の裁決によつて決することは反對者にとつては公明な處斷であると言へるし團體組織の本質に適合する最良の制度であらう

長議一席更らに今日の全聯を御覽になつての感想はとの問には

議するものも決するものも壓倒的な不滿はないやうに見られ各代表も各地方、各職業の總意を映じた代表的な意見を吐いてゐたやうで非常に喜ばしい傾向であつた

と頗る滿悅の態であつた【寫眞は作田博士】

張海鵬侍從武官長夫人の傍聽

全聯の緊張 感服の他なし

新民會の朱華氏傍聽に來京

協和會全聯傍聽のため新民會中央指導部委員朱華氏は七日朝八時に新京驛着、直ちに治安部關係議案の審議に眞摯な協議が續けられてゐる全聯本會議に姿を現はしたが氏は協和會服に似た眞黑の服を着用傍聽席に現はれ聽衆の注目を惹いてゐる、氏は旅の疲れも見せず元氣な口調で傍聽席で左の如く語つた

協和會は七年間の歷史をもつてゐるから各方面に亘つて整備されてゐるが、新民會は僅か創立二年にして未だ各方面において幼稚であり、協和會の模樣を見てこれを新民會の今後の參考にしようと思つてゐる、全聯のこの緊張振りを見て全く感服の外はない、北京に歸つたらこの模樣を話して大いに新民會の今後の發展に資する心算である

ニッポン號

【ダカール六日發國通】南大西洋橫斷の壯擧に成功し五日午後佛領アメリカのダカールに安着した世界一周機ニッポン號は六日拂曉ダカール飛行場を出發モロッコのアガヂールに向つた

神風號不時着

【臺北國通】大朝神風號は通信連絡のため六日午後二時廿三分臺北飛行場發那覇に向つたが午後四時五十分沖繩の久米島附近海上で「向ひ風のため難航をつゞく」との無電あり、午後五時廿分「那覇上陸不能引返す」と重ねて無電あり、更に九時四十五分「右下に海岸線見ゆ」との無電を最後に消息を絕ちその後關係者間に安否を氣遣はれてゐたが臺灣の最南端の鵝鑾鼻に不時着した旨東京朝日社に入電があつた、なほ搭乘者は全部無事であつた

近く節米政策を斷行

伍堂農商相言明

【東京國通】伍堂農商相は六日の閣議に於て目下の米穀需給關係の逼迫に鑑み近く節米政策を斷行する旨左の如く言明した

中國及び朝鮮地方の旱害に依り來年度米穀需給事情は相當窮屈となり朝鮮米の移入については全然期待出來ない狀態になつて既に朝鮮米においては代用食に依るが、米の消費節約を斷行してゐるが、內地においても進んで節米政策を實施せねばならぬと考へる、その具體的方策については目下農林省當局において研究中であるが決令と精神運動との二本建に依つて之を徹底化したいと考へる、その方法としては總動員法第八條により白米搗精を業とする者に對し搗精度を七分搗き乃至五分搗に低下せしめるよう强制する一方直接消費者に對する統制は國民の時局認識を喚起し精神總動員運動の徹底によつて道德的支持に期待しこれが實行を圖る考へである、節米政策の實施は勅令の整備次第速かに之を斷行する心算で遲くとも十一月上旬を期して實行に移したい考へである

大取贈收賄事件

大連取引所贈收賄事件第五回公判は六日午前九時より關東地方法院第一法廷に佐藤裁判長係りの下に開廷直ちに田中檢察官の論告に入り左の如く求刑した

△收賄=懲役六ケ月一乘勇進、同二ケ年三井伊之吉、同一年十ケ月木元等、同一年六ケ月重村信三郎、同一年六ケ月鄭福託、同四ケ月冷詔琮△贈賄=懲役四ケ月田延年、同四ケ月徐成之、同五ケ月李傑勳、李蘭田、黃徑五、劉思聖、于夢唸、趙倫三

治安部施政方針(上)

國軍に關して

國防の重責を負荷する國軍は逼迫せる世界の情勢に即應して嚢に改編を斷行し、國防軍並に警備軍の態樣整備とその强化を圖る內外作戰に就ても共同防衞の本旨に基き終始日本軍と緊密なる連繫の下に、內は國內の治安確保により滿洲產業經濟の振興建設を促進し、外は外敵を粉碎し以て國防の重任を全うし、以て國軍の眞價を顯揚し得たことは軍當局者の幸とするところである、されど列强の飽くなき軍備擴張に對する狂奔振りに想到する時は寸時の晏安をも許さざる現況であつて、軍士兵の教育訓練人的要素の充實、給與の改善、兵器資材の整備等に全力を傾注して、精强なる國軍の練成に邁進し居る次第である

國內治安肅正及外戰に就て

滿洲國軍は康德五年秋より同六年四月末日迄三江地區、東邊道、熱河國境方面に重點を指向し討伐を實施したが、當時一萬近くを算した匪團も討伐の結果その半數以上を減じ、多大の戰果を得たが、殘匪に就いても引續き徹底的討伐を續行しつゝある、現下四周の狀況は逐日緊迫の度を加へ、國內の完全なる肅正は目下の急務なるが故に、國軍は凡有る困難を克服して徹底的肅正を圖る決意を持つてゐる、今次のノモンハン事件には我國軍は日本軍と共同作戰に任じたることは各位周知の通りである

國軍の整備强化

國軍は今回の時局において日滿共同防衞の精神に基き國防の一翼に任じ、玆にますます平戰兩時の任務を明かにし一方治安維持の任務達成のため警備及び討伐に遺憾なからしむる目的をもつて昨年軍管區を增設した、斯くして國軍は愈々その本分を盡さんとしてゐるが、國軍の整備强化を圖るには先づ國軍幹部の訓練、兵質向上待遇改善等が先決の問題である、第一に幹部の訓練は精神訓練及學術訓練に分つて實施し陸軍々官學校、陸軍獸醫學校を新設した、兵質向上については一般學校訓練及靑年訓練に軍事教官を配し、將來の兵質向上に努力中である、國民の程度向上せば國軍の素質は自ら向上すべきものであるから先づ國民教育の普及が最も緊要なりと思料するものである兵役制度については昨年以來關係各部その他と協力の下に兵役法調査準備委員會において兵役制度確立に關する研究を進めつゝあつたが、本年四月委員會より政府に答申案を提出し、徵兵制度は一兩年の中に實現するものと思はれる國軍の待遇改善については旣に當部の立案審議を終り目下關係機關と交涉中であるから、從來の不合理も是正されるものと信ずる、なほ國軍の整備强化の根本要素は獻身殉國の國家觀念を基調とする精神要素であることはいふまでもない事であつて、これが培養の源泉は國民全般でなければならぬ、軍人の扶助援助に關しては政府において國家的に扶助法を設けてゐるが、その外に軍人後援會、滿洲赤十字社、國防婦人會等各方面においても銃後の後援をなしつゝあることは感謝に堪へない、尙入除隊兵、戰死者に對する支援その他凡ゆる方法をつて軍民一體國家國民國防即ち愛國觀念を培養し、入營者をして眞に國民の代表として國民の光榮ある義務又無上の名譽たるを充分認識し、喜んで軍務に服するやう國民各位の協力を希望してやまない

軍機の保護並に防諜

現下國際情勢の緊迫と我滿洲國の實情は、軍機の保護秘匿防諜觀念の普及徹底を要するところであつて、軍においては着々諸法規、諸施設充實をはかるの外、趣旨の理解徹底と運用の妙とを併せ國防目的達成のため一段の努力を拂ひつゝある、由來守勢は攻勢に及ばざる如く、完璧と思はるゝ防諜も尙日進月步の巧妙なる偵諜より完全に軍機の保護を期すること至難であつて、軍事上の機密殊に國防上軍用に供する資源に關する秘密等は極めて自然且不用意の間に漏洩曝露さるゝこと非常に多く、又極めて些細と思はるゝ事項が用兵作戰に重大なる支障を來すと共に國防上莫大なる損害を受くるものである、しかして防諜の完璧は軍官民一致の努力と自制克苦なくしてその達成不能なることを認知せられ、目的達成のため協力せられんことを切望する

警務に關して

我國の警察は建國以來七年を經、國力の充實、國運の伸展に伴ひ內外觀共に劃期的改善整備を斷行しゐる結果、今や建國初期に比し全く面目を一新するに至り、一應近代的警察としての態樣を整ふるに至つたのであるが、本年度における警察施政の大綱概略は左の如くである

警察精神の作興に就て

警察行政振興の要諦はまづ警察精神の作興にあり、義勇奉公犧牲挺身の精神こそ實に警察行政運營の最高指導精神である、しかしてこの警察を體得實踐し精進する熱誠なる風尙が漸次一般に擴充高揚されて來たことは、幾多殉職義烈の警察官を出してゐることによるも明かであるが、尙一層綱紀の肅正を圖り、警察制度の積極的活動と相俟つて不良分子の嚴乎たる處斷を實施しもつて警察界の刷新肅正を期してゐる

警察教養の振興と待遇改善

警察教養の振興と待遇改善警察行政振興の基底をなすものは警察官の素質及び待遇の問題であるがわが國は大規模なる教養振興計畫を樹て、昨年度以來活潑に實施してゐる、省即ち中央に教養督察科を、省に教養督察科又は股を新設し、全國的警察學校の擴充を斷行し新採用警察官の教育に或は現職警察官の再訓練に著々その成果を擧げてゐる、警察官の待遇の問題に關しては警民懇談會の要望として常に議題の中心たることは周知の事である、當局亦至大の努力を傾注してゐるのであつて、特に滿系下級警察官の待遇改善に關しては昨年度及び本年度と屢大相當廣範圍にわたる增俸を斷行し、他面特殊津貼、精勤津貼或は國境勤務津貼の制度を創設し、もつて俸給以外における給與制度の整備と相俟つて、直接間接に心物兩面にわたる待遇改善に努めてゐる、しかして當局は更に心物兩面における待遇の改善に就き一段の工夫と努力をなし警察官をして後顧の憂なからしむるため公正妥當なる待遇制度の確立を圖るべく努力中である

淡い石鹸水で生地を傷めずに

よく落ちる洗濯の仕方 ひどい汚れに濃ひは誤り

これから寒さに向つてお洗濯は仲々汚れが落ちにくく従つて餘分の石鹸を使ひがちです、そこで最も家庭で研究しなければならない石鹸と洗濯の問題に就いて次に合理的で經濟的の洗濯法に就いて專門家の研究の結果を御紹介しませう

ひどい汚れは濃い石鹸水でといふ考へ方は變へたいものです、昔しは石鹸の洗滌力は石鹸中のアルカリにあるといはれてゐたからでせうが、これは訂正しないと石鹸をムダに使ふばかりか布をいため、石鹸を吸着しやすいスフの場合は生地をいためるばかりです

なるほどアルカリは

脂肪質

のよごれを水にとけやすくはしますけれど、石鹸がよごれをおとす働きは、アルカリでなく石鹸水そのものなのです、その一つの證據として、石鹸水と、その石鹸中のアルカリに同じ量のアルカリをとかしたアルカリ水とを比べると、石鹸水の方が脂肪垢を滲みこみやすく、また汚れをはこびだす力が大きいことも判ります。ですからアルカリに力があるとしたら、汚れに比例して濃くせねばなりませんが石鹸水そのものゝはたらきであるとわかつたら、洗滌力はなにも石鹸の濃さに比例しないわけですそこで

石鹸水

の働きですが、水の表面張力（表面張力）を弱めるため、脂肪質の汚れや衣類の纖維の中へよく滲みこんで衣服から汚れをはなれ易くします。石鹸水が布に滲んで汚れが布から離れたあげくを、振つたり押したりするうちに石鹸水にはたやすく空氣が入りこみますから無數の泡ができ、この泡が纖維から離れた汚垢を吸着して水中へ運び出すのです、ですから石鹸水は汚れに比例した濃さでなくて、水の表面張力を一ばん弱めるやうに溶くのが汚れもおちて布もいためません

不必要に

ではその分量はといへば、洗濯水が純粹でなく、ことに井戸水となると多少とも石鹸と化合しやすい金屬を含んでゐるため水の硬度を調べない限り數字的な割合は定められませんから、一般の方は、石鹸を少しづゝ入れてかきまはし盥一面にできる泡が二三分經つても消えない位の濃さに溶かすと宜しいのです、かきまはして出來た泡がすぐに消えるのも少なすぎて効果がありませんが、もしもその割合にとかした液で落ちきれないほどひどいよごれがあつたら、その時は

同様に

とかした石鹸液を新しく作つて再び洗ふ方がムダにならず、石鹸をかはず、ことにスフのやうに石鹸を吸着しやすく且いつたん吸着したら濯ぎ出しにくい布にはためになりませう。

秋の香秘めて出始めた松茸

榮養價も豊富

實の秋を馥郁たる香氣に秘めてわれわれの食膳をにぎはす山の幸、松茸、はこれまで風味や歯ざはりで食べる嗜好食品ぐらゐにしか考へられず、大した榮養なんかないと思はれてゐましたが、どうして却々相當な食用價値のあることが判つてきました。

エルゴステリン

第一に今まで知られてゐたやうに歯や骨組を大夫にするビタミンDの母體であるエルゴステリンがあり、これは從來椎茸とおなじやうに、日に當て、乾したものでないとビタミンDに變つてこないと考へられてゐましたが、これは人間が食べれば純粹のエルゴステリンを抽出吸收したことになるので松茸を食べたのち日に當れば、立派にビタミンDとなつてくるものです。

精力劑の有機燐

次に無機燐と共に、人間の身體に大切な有機燐を少量ながら含んで居ります、この有機燐は、高價な支那料理に盛んに用ひられ、一匁四、五もする白木耳（しろきくらげ）に多く含まれて、ゐてわが國でも藥用として粉末にして賣つてゐますが、この有機燐は吸收が早く、一種の精力劑で、腦神經の榮養となり、疲れを癒し、精力をつけるものです

幼兒にマンガン

更に松茸は木に生えるナメコ、シヒタケ等の茸に相當量を含まれてゐるマンガンを少量ではありますが含んでゐます、このマンガンは人間にとつて特に幼兒の發育には無くてはならぬ要素として今日學者の間に知られてゐるところであります

加里の燐酸と灰分

その他相當量の加里及び燐酸と微量ではありますが銅、ナトリウム、鐵、アルミニウム、マグネシウム、鹽素、硅酸マグネシウム等の灰分を含有してゐます、これ等はそれぞれ人體を構成してゆくために極めて大切な働きをするもので、從つて好きにまかせて食べすぎさへなければ大人にとつても子供にとつても、戴けることが出來ます、尚松茸は蕾と半開のものとでは、一般に蕾のものが最も榮養に優れてゐます。

世界異聞

密月旅行以來 四十數年間放浪

米國のジョーヂ、ブロックといふ男は生來の放浪癖をもつて居り、結婚に際してもさうした性格の女性と結婚し、新婚旅行に旅立つてから以來、四十數年アメリカ全土を殆ど旅をつゞけ今日に至つたが、最近婦人に死なれたので遂に定住することになつた。四十數年の密月旅行とは世界始つて以來最初のことであると目下彼地で話題となつてゐる

一石二鳥の名案 防風林に木苺

米國では、防風林を作るために各地方に盛に植林してゐるが、その中で木苺が最も多く苺の實を採取してヂャムを大量生産する計畫を立ててゐる 正に一石二鳥の新案として各方面で好評を博してゐる。

安價に出來る新ホルモンの合成

スイスのチューリッヒのライヒンユタイン博士は副腎の皮質部から分泌されるホルモン合成法を完成し、これをアヂソン氏病患者に投與して好轉せしめた、がこれは高價な天然ホルモンに比し手軽に出來るので醫界に歡迎を受けてゐる

油田開發に人工地震を利用

米國では人工地震に依つて油田を開拓してゐるが、地震波は一秒一五、〇〇〇呎乃至一六、〇〇〇呎の高速度で好成績をあげてゐる。すでにその爲に二千萬ドルを費ひしてゐるが、これに依つて油田約六〇增加し、昨年に比して倍加の好成績を上げてゐると

講談倶樂部（十一月號）

▲秋の讀書季節に入つて雜誌はどれも一齊飛躍のうちに就中傳統の力をもつ講談倶樂部は十一月號に早くも新年號氣構への徹りした內容を示してゐる。

▲まづ春のファンの熱狂を今から呼招くやうな感じのする竹田敏彦氏の長篇もの「鐵の花嫁」があり例によつて馴れた講想と筆致で、その第一回から異常な吸引力を發揮してゐる

▲これに續いては野村胡堂氏の「恩愛の斷崖」及び「切腹に花散りぬ」下村悦夫「曉に來た浪人」明石鐵也などがあり「定の武士道」で男を上げた大林清君の「哀志の挽歌」にも捨て難い良さがある。

▲實話物語に「戰友よ瞑れ」池田宣政があり戰地美談として氣を吐いてゐるが木村毅氏の「小村壽太郎外相」にも、時節柄まことに興味深いものを感じさせる、尚將棋の金子八段對神田八段の決戰記には獨特の味覺があり、將棋ファンにとつてこれ以上ない名將棋譜であることを斷言出來る。

キング（十一月號）

▲キング十一月號には久し振り座談會の物が揃つて二種も現はれた。その一は「歐洲大戰を語る座談會」であるが、それには陸海軍の方から松村秀逸中佐及び高瀬五郎少佐それから法博の米田實代議士松本忠雄兩氏と正確揃ひの顔觸れが第一に信を措くに足るしその二の「空中戰の體驗を語る座談會」もやはり顔振れのよさと內容の重要さで斷然正確を本旨としたやうに見えるのが最もよい

▲中間ものでは以上の他に秋の季節らしく「スポーツ選手感激談」を載せ「放送室の珍談滑稽談」では中央放送局の山本アナ氏を煩はしてゐる「現代名士五分間傳記」も青木新廳相、帝室技藝員山崎縣雲の二氏をあげて時節柄イキのよい話を提供してゐる。

▲創作では菊地寛氏の新連載篇「人生の旗」が例によつて新鮮な筆觸を示し、このところ生き返つた盛りである「讀切小說傑作選」には五篇、特輯のユーモア小說傑作集には三篇この方では鹿島孝二、川原久仁於、近江帆三の三氏が大車輪でやつてゐる。

爽涼の秋に

美しさ增す明眸 季節の美容モメ

生れつきに、素晴らしい明眸に惠れてゐる人は非常に少いかもしれませんが、併し目は貴女の一寸した注意で、ずつと美しくすることができます

□…先づ第一に目を使ふ時には例ば讀書とか裁縫をする時には、必ず左の肩から光線をとります。そして仕事や讀書の合間合間には、半時間おき位に必ず目を休せるのですそれには美しい繪とか、青い樹木に目を向けるとか、或はそつと目を閉ぢて休養を與へるのです。

□…第二には、次の三つの目の運動を思ひ出した時に何時でも行ふことです。その方法は、（1）目をできるだけ大きく開いて、そして目の玉を左右上下にぐりぐり廻す、（2）首を動かさずにできるだけの上目と下目を使ふ、（3）強く目を閉ぢる

□…第三は目の手入れを怠らぬことです。外出後とか目をひどく使つた後では、必ず硼酸水で、洗ひ、若し目が充血してゐる時には、ヴイチヘーゼルか微溫湯に浸したガーゼをまぶたの上へあてます

□…睫毛の美しい人は毎夜就寢前にワゼリンを氣長につけますでない方もオリーブ油をすりこんで、睫用ブラシで睫毛を上向きになでておきますと、自がパッキリ見えます

女給さんの生活は 結核菌には誂へ向き

休養と攝生が肝要です

女給

の生活には幾多の同情すべき點がありますが、その生活狀態は一般の健康特に結核發病には極めて寒心に堪へぬものがあります。實に彼女等の生活は結核發病の好條件を具備してゐるのです。即ち不規則な生活をしてゐること、どうしても飲酒に耽り勝ちなこと、睡眠の不足、榮養攝取の不充分等である、また光線の入らぬ薄暗いカフエーの內部、塵埃の多い雜踏する部屋、特に夜の生活は彼女等を過勞に陷入れ、精神を非常に昂奮させ常に不安、焦躁の狀態におくものである、而かも年齢は發病に對しては最好適齢である

また彼女等の體質そのものが多く細腰柳眉、長軀瘦身

結核

感染の好適條件を備へてゐるのである、それ故に發病を豫防する爲には、第一に仕事が終つたら直ちに歸宅することである。そしてぐつすり眠つて充分の休養をとることです。次に飲酒を節し、食事を十分に攝り、生活狀態は自分の身體に適應させて一定の方針を定め定休日には充分な心身の體養を第一とし、休養と享樂とを混同させるやうなことがあつてはなりません

聾唖教育に就いて（一）

滿洲國赤十字社 新京聾唖學院長 田代清雄

手話法教育の說明を致して見たい。手話法教育とは手眞似で教育をする方法である。聾唖者の言語は實に此の手眞似であつて、これを合理的に研究して行へば短日月に修學し其の成功も早いのである。しかし學校に行つた事のない教育のないものは自分勝手な自已流の手眞似を致して居るので、教育を受けた聾唖者から見れば誠に不自由なものであり且つ判り難いので學校としては初め正式な手眞似を教へねばならぬが、入學後一箇月もするとお互ひ同志で難なく覺えて了ふものである此の手話教育の創始者佛國の鼻祖故ドレペー博士の發明になる手眞似が今尚傳はり各國聾唖教育に甚大の貢献を致して居るが、これは言語不通者が意思表示をするに頗る便利に出來て非常に判り易いのであつて、これを日本化したものを日本で使用してをるが、遺憾乍ら不合理な事が幾多もありそのうち最も大切な助詞や說明語がない、之は學校教育には必ず使用して居る。しかし一般會話にはないために國語綴りの進歩がよくない譯である。それで日本の聾唖手話教育家が常に頭を惱まして居るので我が滿洲國に於ては此の創始時代にこれが制度の必要が叫ばれて居る事は、斯界教育百年の大計を樹立する上に慶ばしい事である。

そもそも聾唖者は聾と唖の缺陷はあるにしても又長所も備へてをるのであつて其の人に依つてほ、視覺か味覺か感覺が非常に鋭いとか又は手先が特別に器用とか或ひは頭腦が大變よいとかであるから、其の特徴と身心の狀態により家庭の事情を考慮して適當なる手話教育を施したら、多大の效果を擧げ得る事を信じて疑はないのである。況んや聾唖者は短命であるとせば、尚更短日月にして成功せしめ一日も早く聖代の恩惠に浴せしめ以て立派な國民として一生を了へさしてやりたいものである。尚又手話教育は發聲生活がないから肺心臟が弱いといふ考への人があるが、それには體育を主とする方法もある。大體此の手話教育は、聾唖である以上は如何なるものでも適當なる教育が出來るのであるが結局は良い先生を得る事が絶對必要である。

さて聾唖教育には口話と手話法があるが、口話法によるとしても仲々手眞似を禁ずる事は出來ないのである。教室ならとにかく外へ出る、家へかへる、友人との交際等すべてが手眞似か筆談である。たまたま學校を卒業するとしてもそうである。その筈普通人の言語は音語で耳に聞くべきもの、又已れが言ふても已れでも聞くべきものであつて、聾なるが故に、口の動きを見分け又は已れの口を動かして言ふてみても聞えぬため、その感情は極めて薄弱である。手眞似は表情の有形語で無形の音語と比べて實によく判り感情も鋭く速い譯である。斯樣に心理の異る聾唖者は普通人の想像も及ばぬ事があるが故に重大なる人間教育をなすに當つては、一日も早く聾唖者としての幸福を授ける事を考へねばならぬ特に身命の問題がある。十數年前迄の統計では十七才以上二十八才以下の死亡が多く、洵に氣の毒なことである、そして病名の多いのは呼吸器であつてみれば、肺や心臟を強くする生活をせねばならぬ。

又手話教育では手眞似一點ばりでもなく、其の兒童の程度に應じて發語教育も致して居るのであつて、學校では五箇年若くは六箇年を以て優秀な成績を擧げて居る所が多い日本でも昔から此の方法で始め時代に即應して進歩し現在では著しい好成績を擧げて居る學校が少くない。學校ばかりでなく佛教々會日曜學校、聾唖教會、等の教化團體も年年增加して、講演說教又は歌手までもすべて手眞似で徹底した仕事が進んで居る。（寫眞は生徒の作品）

王者之師 可謂仁而無敵

けふの番組

八日（日曜日）〔新京放送局 MTCY〕

朝

七、〇〇（新京）建國體操
七、一八（大連）入港船のお知らせ
七、二〇（新京）ニュース
七、五五（大連）朝の音樂（レコード）
一、組曲「ペール・ギュント」グリーク作曲 伯林交響管絃樂團 指揮 ボルヒアルト
一、朝 二、オーゼの死 三、アニトラの踊 四、ソルベーヂの唄
二、歌劇「ノルマ」序曲 ベリーニ作曲 ビクター管絃樂團 指揮 ボールドン
八、二〇（新京）氣象通報
八、三〇（東京）子供の時間 お話と音樂 珍らしい樂器の獨奏 解說 牛山充 東京放送管絃樂團 指揮 和田肇
一〇、〇〇（東京）週間を顧みて（錄音）
一〇、四〇（京都）日曜勤行 =京都眞宗本願寺派本山本願寺より中繼=
一一、五〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一（新京）晝の演藝 輕音樂（レコード）
一、シボネーの唄 シモン
二、アリ・ババ シンコパドレス・シノ
三、カチータ ヂリロン・オーケストラ
四、カリーナ ジョニー・カリー
五、アマポーラ シルバオーケストラ
六、トルコで ゲッツツイオーケストラ
七、魔法の笛 シリーシンホニーより
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（東京）東京大學野球聯盟リーグ戰試合實況 =明治神宮外苑野球場より中繼= 明治大學對東京帝大第二回戰 早稲田大學對立教大學第二回戰
（野球無き場合）中堅浪花 午後
一、〇〇（東京）一 田原
出世角力 鐵甲齋虎丸
（東京）二、深川裸町 港家小柳
（東京）三、中山安兵衛 木村重松
（大阪）四、身替り鐵兜 桃山天聲
二、五九（東京）北米西部向海外放送 歌謠聯曲 今日のメロディ 由利あけみ その他

夜

四、〇〇（東・新）ニュース（新京）氣象通報
六、〇〇（大連）子供の時間 綴方朗讀 兵隊さん有難う 上野彌壽子 その他七名
六、二五（新京）名曲鑑賞（レコード）奏鳴曲イ長調「クロイツエル」ベートーヴエン作曲 ヴアイオリン クライスラー ピアノ ルップ
七、〇〇（東・新）ニュース（新京）告知事項・今晩の番組
七、三〇（臺北）ラヂオ風景 稻江夜曲
七、五〇（東京）錄音ニュース
八、〇〇（東京）寄席中繼 =人形町末廣亭より中繼=
一、落語 納豆や 昔々亭桃太郎
二、講談 木葉貢三次 神田伯龍
三、聲帶模寫 聲のアルバム 山本ひさし
四、落語 こごと幸兵衛 柳亭左樂
五、落語 記錄アパート 桂小文治
九、二八（東京）十分間演藝（二） 朗らか日記 報恩感謝の卷 横山隆一・作 おぢいさん 加藤精一 靜枝さん 山縣直代 とき子さん 明日待子
九、三九（東京）時報・ニュース（新京）ニュース・ニュース解說・氣象通報・告知事項・明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

戯曲 日出（四十二）

曹禺作　大内隆雄譯

李　（きちんとし、白露が出て行くのを見送り、それから安心し、顔をくづし、又いかめしくし）どうだ勝負は？負けた？

李太太　（哀れな聲で）あなた、私歸らしていただくわ。

李　（心配し）負けたのだね？

李太太　（俯向き）えゝ。

李　（一寸慌て）私がやつた百五十圓すつかり負けたのかね？

李太々　（低聲に）みんな負けはしませんけど殆んどよ。

李　（暫らく、何としてよいか判らず）しかしどうして又そんなに負けたのだね？

李太太　私、氣持が落着かなかつたの、負けちやいけないと思つて、それでうまくやれなかつたの。

李　（思はず氣がいら立ち）慌ててた？みんな一様にやるんぢやないか？何も慌てることはないのに、ほんとに、お前は世間慣れしてないからね。

李太太　（さう言はれることに我慢出來ず、涙を落し）私麻雀は嫌やだつて言つたに、あなたが無理に行けつて仰言つたのよ。私來たくはなかつたのに、あなたが無理強ひに來させたんだわ。私あなたが仰言つたから來たのよ、そしてお金のある方たちと麻雀をやつたのよ――負けると、あなたはそんなこと仰言る――（聲を出して泣く。）

李　（その樣子を見てゐて一層怒り出す）又めそめそと泣く！お前は泣くことしか知らんのだな！此處はお前の泣く場所ぢやないよ、一體何てザマだ、泣くな。（うるささうに）錢は俺持つてるよ、もういゝからさ。

李太太　お金なんて要りませんよ。

李　何が欲しいのか？

李太太　（おづおづと）私かへりたいの。

李　つまらん文句はよせ。錢はあるんだ。（カバンを取り彼女を慰め）見ろ、こゝに百圓ある、そら。さあ八十圓やつとこう、いゝだろ。

李太太　あなたそのお金何處でこさへていらしたの？

李　そんなことお前構はんでいゝよ。

李太々　（突然）あなたあの皮の外套は？

李　家にあるさ、着て來なかつたよ。

李太太　（李の手にある札束の中に一枚の紙を見出し）あなた、それ何です？

李　（押へるやうに）これは……（だがもう李太太に取られてゐる）

李太太　（その紙々見、李に渡し）あなた又あの外套を質に入れたのね――

李　お前そんな大きな聲を出さないでさ――

李太太　おや、あなた、それで困るの？

李　（不愉快になり）お前と關はりないよ、お前に言ふが、お前の關はつたことぢやないよ。

李太太　あなた、私本當にやりきれませんよ、あなた、私を家に歸らせて下さいよ好いでせう？此處は私達の遊び場所ぢやありませんわ一人としてまじめな人はゐなくて、その言ふことだつてちつともまじめぢやないわ――

李　誰がそんな事を言つたんだね？潘經理がまじめな人ぢやないと言ふのかね！あの人は學校もやつてるぜ、貧民救濟院も建ててる、工場を持つてゐる、こりや立派な人間のやることぢやないのかね？

李太太　でもあの方はこゝの陳小姐と、あなた――

李　そりや知つてるよ、そりや經理が小姐を好きだからだ、あの人は錢を持つてゐる、あの人は錢をこんなことに使ふのが好きなのだ、こりや何もまじめとか不眞面目とかいふことではないよ。

李太太　好いわ、そんなことは何も私達の事ぢやないから。（哀求して）あなただつて判つてるでせう。私達の收入は少いのよ、私達がこんな所に遊びに來るのは身分不相應よ、あんなお金のある人たちのお相手をするのは……

李　がが何度もお前に言つたぢやないか、そんな話は家でしてくれ、此處では話さんでくれ。人に聞かれたら笑はれてしまふ。

李太太　（抑へつけられ）私本當にあの人達の笑ひものになつてゐると思ふの。

李　（ブン〳〵して）誰が笑つたりする？俺達だつて金はある、そして同じに麻雀をやる、同じやうな八十圓百圓のやりとりだ。

李太太　でもそれが何になるでせう！私達家にはあんなに子供たちがゐるわ！小英はもう學校に上るのよ、芳兒だつてもうよく物事が判るのよ、小五は病氣よ、そして私は冬を越す服も無いんだわ。そんなのを放つて置いて、そんないけない金であの人たちの相手をして麻雀をやつて、百圓、八十圓とやりとりするなんて、私もうやつて行けはしないわ。

李　（俯向き）もういゝよ、よせよ！

鼓動

西谷正夫

重苦しくあなたの復讐的な眼が光つてゐる
匍匐つてゐるか妖怪めいた絶望の畏怖の表情。
あなたは息づまる叫び聲をあげて沈鬱な曠野にいかめしい叫び聲をあげる。
だがきつとも一度あなたは青白くなつてゆく屍を抱かねばならないだらう。
啼き叫ぶ美しく長い接吻とそして記憶の中に萌える彩つた美しい青玉の冴えの中に。
朱色の衣をまとうて脅かすやうにあなたは私を花盤の上に押し倒さうとする。
そのときはもう憐愍や優しい同情は示すことはできない
青々とした燈心草のやうに
あなたは恥かしげに内氣な微笑をみせながら
私を濡れた海の中でやはらかいしなやかな腕をまきつける。
私は女の美しい夢中なそして淑かな
甘い萎萎のさゝやきに惱ましく慄へてゐる。

創作 幼友達（三）

錦波

小さな田驛の待合である。人の好ささうな驛長が大きな懐中時計を見ながら待合室に入ると、

「やあ――岸さん何所へ？」

と五十近い白髪が三分の一もあるが品のいゝ老人に聲をかけた。

「いや伜の奴が一寸隣まで」

正男の父は遞信局に一年前まで勤めて居て今では千五百圓の恩給で氣樂に暮してゐるだけあつて物分りがよくこの町の有力者の一人である。

「切符はもう濟みましたかな……」

「あさうだ、ぢや一つお願ひしませうか」

「よろしうがす、……や木田さんも何所かへ？」

這入つて來た木田老人に驛長は聲をかけて切符の事はもう忘れてゐる。

「一寸見送に來ましたぢや」

「誰を？」

「岸さんの息子さんぢやよ」

「さうですかい、……と切符を忘れて居つたが岸さん何所までですかな」

「新京までお願ひしますよ」

「いや新京？新京とは滿洲ですな、これは參つた、隣とは參つた」

參つた〳〵と繰返しながら驛長が事務室に消えると老人達は滿洲の話をはじめた。

驛前の田舍しみたそれでも名だけは「ゴンドラ」と堂々たる喫茶店で正男と弘子は默つたまゝ古くて味も何もない砂糖だけの珈琲を凝視めてゐた。

古いレコードが他の町の青年によつてかけられてゐたが青年も歸るとしんと靜まつて二人だけになつた。

泣いたのか弘子の瞼が紅く腫れてゐる。

「別れる時だけでも笑つたら？」

「……」

「五年か六年だ、僕は石に嚙りついても一人前に生活出來るだけの基礎を造る、中學校だけでは頼りないけれど一生懸命にやるさ」

振り仰いだ弘子の眼を避けるやうに窓越しに驛の向ふの丘を見乍ら正男は更に續けた。

「僕も男だ、君に約束した事だけは絶對に守る積りだ、だから僕は向ふに行つたつて便りはしない、君も又中途で女々しい便りなどしないで呉れ給へ、いやそれよりも絶對に僕が一人前の生活基礎を築くまでは絶交しよう、僕もこの氣持は絶對に守つて行く積りだ、親父にも約束してある事だから君もさうして欲しい、ね弘ちやんいゝだらう」

「……」

「君の事は絶對に忘れないよ信じて呉れるだらうね、五年だ、五年の間の苦しみだ、ね弘ちやん！」

弘子はテーブルの上に俯したまゝ嗚咽を嚙み殺してゐるだけであつた。

「ね、うんと云つて……」

正男はさう云ふと眼が熱くなるのを隱すやうに冷めたコーヒを飲み干した。

「いゝわ、待つてるわ……五年でも……十年でも」

「おい正男！何をしとるんぢや」

父の聲に正男は思はず立上つた。

「弘子さんは又どうしたんぢや、うん」

この間の割切れぬ空氣に父耕造の眼は異様に光つた。

「お父さん！お願ひがあります」

必死の言葉に耕造を唯正男の顔と弘子とを見るだけであつた。

「お父さん！隱してゐて申譯ありません、でも、でも二人は幼友達と云ふだけの純淨な二人です、何の汚らはしい事も二人の間にはありません、お父さんお願ひです、弘子さんを僕が生活の基礎を固めたら貰つて下さい、石に嚙りついても成功します必ず……」

「……」

「弘子さん！貴女からもお願ひして……」

弘子は泣いてゐるだけであつた。

暫く考へてゐた耕造はやがて何か解けたと云ふ風な顔に歸つた。

「よし、正男！しつかりやつてくれ」

やがて汽笛が一分間の停車に最後を告げると下關に向ふ汽車は辿り出した。

父の言葉に安心はしたものゝ泣いてだけゐてかすかに承知して他に何も話して呉れなかつた弘子に幾分心を殘し乍らも汽車に乘り込んだ正男は他の見送人に挨拶をするより弘子の笑顔を、せめて最後の微笑を待つてゐたがハンカチーフを振るだけしか見ない間に汽車は住み馴れた故郷の土を後にしてしまつた。

弘子も又正男の言葉にどうしていゝのか分らず唯涙だけが無闇に溢れて自分の涙もろく餘りにも女々しいのか腹立たしかつたけれど――

夕闇せまり來る西の海濱に沿つて去つて行く汽車の後尾燈が松原に消されて行くと弱々しい月影が三月の空に浮いた。

爆撃機

話術と人生觀照

里見弴「無免許灸」（『文藝春秋』十月號）

こゝ――われ〳〵はまたこの作者あの達者な話術を讀むことが出來る。

一風變つた性格を持つ、家に出入りの下働きの男、數年振りに會ふと灸り研究をやつてゐて、主人の痔を癒してやらうと仲々に熱心である。時局問題について氣焔をあげたりする頭腦も持つてゐる。

それを面白く眺めた形で書き流した別に變つた趣向もない作品である。ただ話術。それと、老來漸く一層洗錬されて來たこの作者の人生觀照の眼を見るべきであらう。惡い作ではない。

（御垣衛士）

出前迅速
御食堂
三笠町
電③二八一〇番
五七七五番

森永
ドライミルク
毎罐に景品券ガ入つてゐます

日東茶園製
日東紅茶
市内各食料品店にあります
特撰青レベル
精撰黄レベル
ダージリンの香
アッサムの粋

新發賣
捲く手間の要らぬ
電氣時計
從來の形式を一變せる新製品十種の普及型嶄新なる機構になり、最も優美にして堅牢價格亦低廉なり
特約店 滿洲電業會社
製造元 東京電氣株式會社

全聯第八日協議に拾ふ
官吏の綱紀肅正に生活安定が必要
弊風事前防止を圖る

戰時諸政策の實施と共に官公吏の政治、經濟その他萬般に對する指導の强化が必然的に招來され、この場合一歩誤ると匡救すべからざる官僚獨善の弊風釀成の素因をなすに至るもので、七日全聯第八日午後における「官吏の綱紀肅正並に生活安定に關する件」の上程はこれら時弊の中核を衝き事前に防止せんとする建設的論議として注目されてゐたが、右協議において菅原民事司長は滿洲國の刑事政策について

一國の刑事政策は政治力の程度から計るべきで、官規の肅正についても處分の效果徹底を第一義とする

と言明したことは注目される即ち官公吏の綱紀肅正について政府は先に文官令を制定して懲戒制度を確立、監察令を公布して綱紀の肅正振肅に萬全を期してゐるが「處分の效果の徹底」と云ふ觀點から右の司法的處分の發動は官公吏の待遇改善の裏づけを以て完成するものとなし、更に協和會運動の浸透により總ての忌はしき事柄が司法以前において解決されることに刑事政策の指標を置いてゐるものと見られる

軍民の協力により國軍精軍は達成
注目さる于大臣說明

全聯第八日に上程せられたる國軍問題三件

一、經常輸送隊編成に關する件
一、國軍豫算增加に關する件
一、國軍討伐隊の給與及行動費に關する件

において各地代表よりの治安部當局に開陳した希望乃至意見は部分的に見る場合は國軍の素質、教養を衝いた點もあるが大觀するに國防の重要緊切なるを充分認識し第一義的に國軍の增强を置き、それへ到達すべき手段としての精兵主義とそれが遂行せらるゝに當り民衆生活へ及ぼす影響の合理的調整が主要テーマをなしてをり徵兵令實施促進案の提出と共に國民の國軍に對する認識の向上は見るべきものがある右に對し治安部當局では于治安部大臣自ら登壇して建軍の本義を闡明「精軍の達成は軍民の完全なる協力によつて達成せられる」と表明したことは國軍の進路を要約して示したのであるが今後、國軍の精軍主義への具體的表現としては

一、國軍士兵の素質改善
一、國軍の待遇改善
一、討伐時における給養と行動費の合理的調整
一、軍事援護の確立

の諸項が更に拍車をかけて遂行せられるものと見られ國民總服役法の實施を目前に控へ全聯において右問題が協議せられたることの意義に極めて大なるものがある【寫眞は滯京の筑紫前參議の全聯傍聽、右の脊廣服】

會場に觀る

△「好人不當兵」の弊風未だ去らず、建軍の理想達成は國民の双肩に懸ると、于琛澂將軍大聲叱咜して急霰の拍手を浴びる

△觀念の遊戲に墮せず、官僚の獨善に淫せず、民と共に生き共に死すを政治の妙諦とす、于將軍蓋し是に近き歟

△政府は匪數三千に減ずと謂ひ、民は法匪の橫行いよいよ繁きを嘆ず

△「法は三章を以て足れり」では近代的政治國家は形成出來ず、目の急激な發育と法制の兩全は當然だが基本法と戰時法の一齊射擊で眞に「法令雨下」の壯觀である

△しかもその法令が机の上で作られ、それが民衆への宣德が徹底せず、では國民は「權利の上に眠るもの」と「水上の焚火」を併せて實踐する漫畫的存在となる

△立法に當る者は板にくつゝいてゐる蒲鉾的存在であつてはならぬ

△蒲鉾にさかなの形なかりけり

一萬圓未滿寄附者にも木杯、褒狀を御下賜

【東京國通】支那事變勃發以來興亞聖戰に捧げる民草の熱誠は皇軍慰問に恤兵寄附、兵器獻納となつて銃後守りの實を擧げてゐるが畏きあたりでは深くこの赤誠を嘉せられ滿洲事變の際と同樣褒賞條令によらざる一萬圓未滿の寄附者に對しても五百圓以上木杯、十圓以上は褒狀を下賜あらせられる旨御沙汰あり、七日賞勳局から右に關する勅令が公布された、既に陸海軍への國防獻金は一億圓を突破し十圓以上の資材寄附者だけでも數十萬圓に上つてをり、賞勳局では速かに調査を急ぎ來春早々から逐次發表する模樣であるが直接間接に褒賞の恩命に浴する者は一億同胞の殆んど全員に及ぶものと見られてゐる

生保團滿洲視察

日滿を一體とする經濟提携强化と共に日本側各種投資有力團體の滿洲に對する關心は特に近年顯著なるものがあり今春來滿洲產業經濟實相視察團の來滿せるものシンジケート團、證券團、大阪政經研究會等十指を屈するが更に今回對滿投資の有力な一員たる日本生命保險協會が來滿視察し滿洲の經濟建設の實相を觀察することゝなりその巨大なる資本を通じて今後の滿洲物資金調達ルートは一段と潤澤化されるものと各方面から期待されてゐる、一行は十日東京發羅津經由牡丹江龍爪等東滿地區を先づ視察の後十七日午後九時卅分着列車で哈爾濱より入京二十一日のあじあで離京し撫順、鞍山その他南滿の重工業資源地帶を視察の後歸國の豫定で、同團の來滿については滿鐵を始め滿業、中銀、滿生の四社が斡旋の勞をとることゝなつてゐる、尚一行の主なる顏觸れ左の如し

日本生命成瀨社長、千代田生命吉田社長、太陽生命山口常務、日清生命山田取締、第一生命（未定）第一徵兵太田常務、大同生命廣岡副社長、野村生命松本取締、安田生命丹治常務、福壽生命寺木常務、帝國生命小田川常務、明治生命山名取締、仁壽生命下鄕常務

これに生保協會より玉木專務が參加する

絕讚滿つ拍手の波
三浦環獨唱會終る

上演二千餘回、世界の隅々までお蝶夫人で持てはやされてゐる三浦環女史のオペラと獨唱會は本社後援のもとに七日午後七時三十分から新京西廣場滿鐵倶樂部で開催された、滿洲では最初のオペラ上演でありかたがた天才歌姫の音律に接せんと待望のファンは開場を待つてどつと雲崩れ込み會場は瞬く間に立錐の餘地なく補助椅子を出す仕末、かくて午後七時三十分滿場の拍手に迎へられてステーヂに立つた三浦女史は岩田氏令孃より本社贈呈の花束をうけ、豫定のプログラムに從つて順次曲目を進めて行く、その豐富なる聲量と音律は恩師サルコリー翁をして「偉大なる天才歌手」と驚嘆させただけに一種神秘的魔力をさへ覺えしめ、一曲目の終るごとに破れるが如き絕讚の拍手の連續にて『環女史未だ老いず』の感を深うさせた、八時十分からは卅分間第一線將兵のため特に親しみある曲目を撰んで中繼放送を行ひ少憩のゝち待望のお蝶夫人の歌劇に移る、舞台は滿鐵倶樂部員が苦心の意匠になれる日本を偲ぶに最も相應しきもの、第一幕『夜は靜か』から始まる、扮裝した女史が舞台を縱橫に動きまはる時あの肥滿した肉體が可憐なるお蝶さんに變じ偉大なる藝術の力に觀衆はたゞ我を忘れて恍惚となる、最後のお蝶夫人の自刃に至つては〃汚れて長らへんよりは淸く死せ〃の一句に日本婦人の精神美を遺憾なく發揮して滿堂の淚を誘ひ萬年鶯環女史の名聲をいやが上にも高揚し空前の盛況裡に幕を閉ぢた【寫眞は滿場の聽衆と唄ふ環女史】

商店員よ集れ
新京珠算競技大會
來月五日京商で開催

古き傳統を有ち、我國特有の計算技術として發達して來た珠算は科學の進步、機械の發達を見た現代でも其簡易迅速な點で認められ、計算事務上大きな貢獻をなして居り、ます〳〵その普及練磨を圖るべきであるといふ趣旨から、新京商工公會商工相談所の主催で、十一月五日第二回新京珠算競技大會が開催されることゝなつた、參加者の注意事項の大略は左の通り、詳細は中央通國通三階商工公會商工相談所へ申込むと印刷した諸規定を與へられる

一、競技會場　新京商業學校
一、參加資格　（第一部）一般參加者（第二部）個人經營商工業者店員、但し優秀成績者は第一部に編入することあり（第三部）商業學校生徒
一、開始時刻、（第三部）午前十時（第二部）午前十一時（第一部）午後一時
一、競技種目　（第一部）種目別個人競技（見取、讀上傳票、見取暗算、乘、除六種目）綜合個人競技（種別と同種）綜合團體競技（見取、傳票、乘、除、見取暗算五種目）以上各競技を同時に行ふ、團體は三名とす▼（第二部）見取、讀上傳票、乘、除の五種に付き種目別個人競技▼（第三部）見取、傳票、乘、除の四種に付綜合個人競技
一、參加申込　所定の申込書に記入の上十月二十五日まで商工相談所宛（人員百二十人に付き期間中でも定員次第締切る）

愛息忌明 國防獻金

市內義和路電々社宅八號西岡外吉氏は去る八月二十日長男靖之さんを亡ひ、その四十九日の忌明にあたり追善のため國防獻金五十圓を七日本社へ寄託よつて直ちに所定の手續きをとつた

全滿足球大會

第二回全滿大學、高專足球選手權大會第一日の勝頭を承つた法政大學對工鑛技術院の試合は六日午後二時半より南嶺競技場に於て郭（主）根來、王（線）三氏審判の下に工鑛の先蹴で擧行されたが、結局試合は一日の長ある法政が四對零で決勝した

法政 4（4……0 / 0……0）0 工鑛

深夜の驛構內はコソ泥の稼ぎ場
旅客は御用心下さい

徐々に忍び寄つて來る酷寒の跫音に多支度、多籠りに迫られた貧民窟に巣喰ふ浮浪者のコソ泥稼ぎに留守中、用談中に洋服、衣類、現金、果ては自轉車、洗濯物と賣つて金になるものを盜まれて中央署に屆け出るだけでも日に三四十件を下らず係員は受付に手配に肌寒い今日此頃にも拘らず大汗だくの態であるが、コソ泥のうちにも猛者が居るらしく深夜の新京驛各等待合室を荒し廻り警護隊驛詰所員をてんてこ舞ひさせてゐる、七日午前一時頃奉天大西門第一國民高等學校生徒王雪枝（一八）君は奉天行切符を買ひに行つてる間に一、二等待合室に置いたトランク（協和服二着百五十圓、背廣三ッ揃二着ほか五點合計五百圓）を、同一時廿分頃吉林郵政局理事公館傭人姜福林（六〇）さんは三等待合室で吉林行列車を待合せ中居睡りしてゐる隙に鋭利な刄物で左內側ポケット下部を約三寸宛二條一文字に切られて虎の子在中の財布（現金三百八十二圓）を、同一時四十分頃南嶺居住の楊增志（二二）君は一、二等待合室で友人を待合せてゐるうちコックリ〳〵した間に懷中時計（時價八十圓）を何れも竊取されて半泣き顏で警護隊驛詰所に何とかして下さいと訴へ出た

上級車を改裝三等車にします
旅客輸送力の增强策

躍進大陸を反映する旅客激增緩和策として鐵道總局では列車の增發、輸送力の增强を中心とするダイヤの改正を行ひ來る十一月一日より實施することになつてゐるが、この度超滿員をつゞけてゐる二、三等客サーヴイスのため老朽一二等混合車の中約二十輛を二等又は二、三等混合車に改裝して列車の收容力增加を圖ることゝなつたが、最近二等客の增加は物凄く三等列車と變らざる混雜をつゞけてゐるがこれは好景氣もさる事ながら三等混雜のため已むなく二等列車を選ぶ客が相當多く、旅客サービス上遺憾の點があり他方一等客は特急あじあ以外は何れも十人以下の少人數で、利用者は依然少いため大衆サーヴイスと輸送力强化の一石二鳥を狙つて一、二等の混合車の車種變更を行つた譯である

順德商場に忍入り懷中時計盜む
二千圓の大仕事

七日午前八時頃城內大馬路五二合名會社新京順德商場で開店の商品陳列に余念ない折柄二階貴金屬品賣場店員張洋成（一九）君が陳列しあつた各種時計のうち、懷中時計（時價五十圓）四十個が何者かに竊取されてゐるのを發見して長通路署に急報、同署より中司法主任以下馳けつけ實地檢證した結果、前日午後十時閉店より翌朝五時までの間に同店裏二階窓をコジ開けて侵入、高價な貴金屬に眼もくれずに懷中時計ばかり攫ツ拂つて悠々と侵入口から逃走したこと判明したが、現場には手掛りとなるべき指紋その他全然なく相當手强い竊盜常習犯とみられ目下各署に手配し嚴探中

社賞獻金 鑛發高橋氏篤志

七日午後、滿洲鑛業開發株式會社員高橋哲彌氏から、賞滿洲鑛業開發株式會社と記し水引をかけた金一封（六十圓在中）を軍人遺家族救護事業のやうな方面に寄附したいが、勝手が判らないからよろしく賴むと寄託されたので、滿洲軍人後援會へ贈ることにした寄附の趣旨をたづねたが謙遜してたゞ會社の業務上の事で賞金を頂いたが、社員として當然の事を爲しただけで賞金を私するに忍びないから何か有意義な費途に充てやうと考へたまでの事ですと語つたのみだつた

大學野球リーグ

【東京國通】東京大學野球リーグ明大對帝大一回戰、慶大對立教二回戰の二試合は七日神宮球場で擧行されたが明帝戰は十二時五十五分より伊丹（球）西村、山崎、藤田（壘）四氏審判で明大先攻に開始、明大は藤本、御子柴をバッテリーに立てれば帝大は白谷、北野の不動のバッテリーを以て對戰結局三對零で明大快勝す、閉戰二時三十七分

【東京國通】慶立二回戰は午後二時五十分より天知（球）角田、西村、坪井（壘）四氏審判、慶應先攻に開始されたが四對三の接戰で立教惜敗す

明	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3
帝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
慶	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4
立	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3

けふの天氣　西寄りの風　晴一時曇
きのふ氣溫　最高 一一度七　最低 六度二

星野總務長官の從弟である採金會社の星野幹氏「僕のことを心臟居士と人がいふがね…この身體では心臟が右か左か存在が知れませんや」とうそぶいてござる▼なる程骨と皮だけのあの身體なら心臟は無いかも知れぬが、心臟の强いよりも心臟の無いのは一段上ですぜ▼かつて乘馬を試みた事があるが何と美事に落馬、ところが彼氏馬の手綱をガッチリと摑んだまゝ、一二町ツッ走つたが曰く「何しろ乘り手が居ないと馬ですからね、人の持ち物を傷つけてはと思つて走つたのだよ」と人情味タップリ▼後で親しい友にコッソリと「不思議に手を放す事をわすれてゐてね……」と辯解、さすがに心臟居士ではある

宮鍋中銀國庫副課長逝く

滿洲中央銀行總行國庫課副課長宮鍋喜太郎氏は五日午後六時二十分死去、享年四十二、來る十日午後四時三十分大同大街東本願寺滿洲別院で告別式を執り行ふ

故大橋滿鐵工業局長葬儀

滿鐵油化工業に絕大なる功績をのこした滿鐵工業局長大橋賴三氏の葬儀は撫順炭礦葬によつて八日午後三時撫順に於て執行されるが新京からは新京支社神守次長が社員を代表して參列することになつた

滿洲採金株式會社公告

從來當會社事業區域內に於て金鑛を發見し之を採掘せんとする者は當會社に申出て當會社に於ては鑛業權を設定したる上申出人の爲に租鑛權を設定するか又は發見料を交附して居つたのでありますが康德六年八月一日附政府公報を以て鑛業法規の一部が改正せられ從來政府に於て取扱はれたる鑛業出願の處分並に登錄の事務は滿洲鑛業開發株式會社に於て取扱ふこととなり之に伴ひ事務簡捷の趣旨に依り從來當會社に於て受理し來りたる右金鑛々業の申出は滿洲鑛業開發株式會社理事長を經由して申出することとなりました

注意事項

一、申出手續法は從來通り當會社の規定に依る（申出書類の宛名は當會社理事長宛とし封筒上書は滿洲鑛業開發株式會社理事長宛とす）
二、當會社事業區域中直營豫定區域康德四年六月二十八日政府公報掲載の一般申出は出來ませぬ
三、當會社事業區域中興安東省興安北省は未だ鑛業法が施行されて居ませぬ故當分の內一般の申出は出來ませぬ
四、金鑛の申出手續は本文の通り變りましたが申出人の申出に基く鑛業權は總て當會社に付與せられ申出人に對する租鑛權の設定及發見料の交付等に就ては從來と何等變り有りません
以上

康德六年十月五日
滿洲採金株式會社

滿洲鑛業開發株式會社公告

今般鑛業法並に鑛業法施行細則の改正と共に滿洲採金株式會社の事業區域內（直營豫定區域を除く）の金鑛發見申出の處理は當社が引繼ぐ事となりたるを以て、同地域內の金鑛の發見申出は滿洲採金會社の從前の規程により當社宛に爲されたし。尚當社宛の申出に關しては左記にて處理致し居るに就き詳細は同所宛問合せられたし

新京特別市大同大街三〇二號 海上ビル
滿洲鑛業開發株式會社 出願部
電話②三八一六番

康德六年十月五日
滿洲鑛業開發株式會社

英語獨逸語講習

ゲーテ曰く「一ヶ國語を修するは一世界を得る所以なり」と。今や世界擾亂の日に革まらんとするの秋、世界讀書の法を究めて高處大觀的知見を磨き國策的度胸を鍛へよ本會英獨初中上各級共數名宛補欠入會歡迎す但し獨乙語中級ヘルレル「國家論」は後二三回にて終了續いてトーマス・マン「論文集」及ゾムバルト「資本主義の將來」に進む、申込及詳細は東三條通領事館前新京藥局（電三―五五七九）へ

英語獨逸語講習會

宮城縣人各位に告ぐ

本縣派遣滿洲移住地視察團一行參拾貳名が恙なく其の使命を果し左記日時にハルビン方面より到着致しますから萬障御操合せの上多數御出迎願ひます

到着日時　十月九日十二時三十八分

追而一行の勞を犒ふため九日午後六時中央飯店に於て歡迎會を開催致しますから奮つて御出席願ます

會費　金五圓（當日持參の事）

八島通五番地（電３三〇八〇番）
新京宮城縣人會

父宮鍋喜太郎儀病氣ノ處養生不相叶十月五日午後六時二十分死去致候ニ付此段御通知申上候
追而來ル十日午後四時三十分ヨリ大同大街東本願寺滿洲別院ニ於テ告別式相營可申候
尚時節柄御供物等ノ儀ハ乍勝手御辭退申上候

康德六年十月七日

男　宮鍋恒也
親戚總代　宮鍋榮次郎
同　青木篤志
友人總代　田中鐵三郎
同　大澤菊太郎
同　岩尾眞一

女人果（じよにんくわ）

小栗虫太郎作　中島喜美畫

（百七十）　腕くらべ（10）

そのとき、向ふの卓子に、綺羅びやかな一行が入つて來た。

見ろ、あれだぞ、ジョルジュ・ド・カステラン伯夫人だ——と、低聲ながらも、あたりの卓子が急にざわめき立つてきた。

それは肥り肉の、腰の線のうつくしい南歐的な婦人だつた。

もちろん、盛りは過ぎ四十ぢかいであらうが、重たい、暖かな、押しせるやうな美しさだ。

ところが、間もなくディタのはうを繁々と注意するやうになつた。

『シャルパンチエさん、あなたは、あのカステラン伯夫人を御存じ』

『知りませんねえ。どうせ伯爵夫人なんて、喰はせものが多いですから……。まづ、色師か、すごし下つて、亜歐航路の箱師でせう』

シャルパンチエは、果肉入り團子を頬ばるに夢中であつたゞけに背後で、伯爵夫人が演じつゝある、不思議な動作には氣が付かなかつた。

それは、馴染らしい給仕にちよつと眼配せをすると、そのとき野菜を盛つてきた。器を變へたことであつた。

最初は、粋な光澤陶器、それを磁器に盛り變へて、カステラン夫人のまへに置いた。

しかし、ディタの神經は、不思議なほど鋭くなつてゐた（あつ、さうだ。あの給仕は伯爵夫人にこのテーブルのことを報せたにちがひない。磁器はchina支那だ。

そしてディタには、なにやら自分をめぐつて、躍動してゐるものがあるかに感じられてきた。

しかし、それを云はうにもあまりに符合めいてゐる。

ディタは、さうして云はうか云ふまいかと躊らつてゐたのであるが、そのうち、シャルパンチエ氏が口を切り、談話が核心に入つてきた。

『では、上陸第一歩をお約束して置きませう。小社はそのとき、シニョレXL4艦爆の性能をお目にかけたいのです。のみならず、驅逐と比較しても、戰闘に遜色がないと云ふこと。いゝですか、明日の朝お迎えにあがりますからね』

ところが、あとで社交室で口直し酒をのんでゐると、カステラン伯夫人の連中がまた近くに席をとつた。

ディタは、長椅子を小楯にして觀察をおこたらなかつたのである。

さつきのあれは、偶然か過敏な神經のせいか——ディタは、萬事がこの境遇におとされてから、鐵鋭にとがり出してきた。

すると、そこへまえの給仕がまたやつてきて、夫人から何事かを囁かれた。

彼は、こくりと頷いてそのまゝ室を出て往つたが、去り際の、視線はまさに眞正面にシャルパンチエに當つてゐた（マア、莫迦らしい、あれしきの事、氣にするほどのこつちやないぢやないの。それに明日はおさらばをするんだからどうでもいゝこつたわ。

ディタは、やがて自分の氣遣ひが可笑しくなつてきたが、そのとき、まえの給仕がコアントロウを運んできた。

ところが、その一つを夫人がとつたとき、じつに不審きわまる動作が演ぜられた。

それは給仕の手が、側らにあつた果物皿に伸べられたからである。

そして一粒、ライン葡萄の碧玉をもぎとり、どうするかと思ふうちに、夫人のグラスの底へスィと落し込ませたのである。

近海郵船會社　大連・長崎・鹿兒島航路定期
各淡路丸（大連行）
鹿兒島發　長崎發　大連着
每午後四時發　午後三時發
十月十日　十一日　十四日
十月廿一日　廿二日　廿五日
十一月一日　二日　五日
各淡路丸（長崎、鹿兒島行）
大連　長崎　鹿兒島行
午後五時發　午後五時發
十月五日　八日　九日
十月十六日　十九日　廿日
十月廿七日　三十日　卅一日
十一月七日　十日　十一日
各淡路丸

大阪商船出帆
門司、神戸行
熱龍丸　十月九日
扶桑丸　十月十一日
吉林丸　十月十三日
うすりい丸　十月十五日
熱河丸　十月十七日
うらる丸　十月十九日
鴨綠丸　十月
（午前十一時大連出帆）
三角、鹿兒島那覇行
大同丸　十月九日
午後三時大連發
事務所　大連・奉天・新京・哈爾濱・驛とビューローで連絡切符發賣

北日本汽船
敦賀直航
●はるぴん丸（月三回）
羅津發每月六ノ日後四時
淸津發每月七ノ日後四時
敦賀着每月九ノ日前七時
●氣比丸（月三回）
羅津發每月一ノ日後四時
淸津發每月二ノ日後四時
敦賀着每月四ノ日前七時
新潟直航
●滿洲丸　●月山丸　●さいべりや丸
新津發　六日、九日、十二日、十五日、十八日、廿一日、廿四日、廿七日、卅日、二日後三時
羅津發　七日、十日、十三日、十六日、十九日、廿二日、廿五日、廿八日、一日、四日後四時
新潟着　九日、十二日、十五日、十八日、廿一日、廿四日、廿七日、卅日、三日、六日前七時
切符發賣所　羅津、淸津、國際運輸支店及各ビューロー
鐵道連絡切符ハ各主要驛ニテ發賣致シマス
新京府北屋町　北日本在勤員　代理店國際運輸淸津支店
航路案內、御入用ノ方ハ最寄御請求シ下サレバ無料進呈致シマス

廣告の御用は　電話（3）三三〇〇